

令和 6 年度

阪南 2 区整備事業に係る環境調査

海域環境調査

月報（2 月分）



株式会社 KANSO テクノス

目 次

1. 調査目的	1
2. 調査日および調査内容.....	1
3. 調査場所	1
4. 調査結果	4
4-1 水質調査結果.....	4
4-1-1 定点監視結果および環境基準との比較.....	4
4-1-2 補助監視結果および環境基準、監視基準との比較.....	11
4-2 底質調査結果.....	23
4-3 水生生物調査結果.....	27
4-3-1 植物プランクトン調査結果.....	27
4-3-2 動物プランクトン調査結果.....	27
4-3-3 底生生物調査結果.....	28
4-3-4 魚卵・稚仔魚調査結果.....	29
4-3-5 付着生物調査結果.....	30
4-3-6 漁獲対象動植物調査結果.....	32
4-4 ダイオキシン類調査結果.....	79
4-4-1 水質調査結果.....	79

1. 調査目的

本調査は、阪南 2 区整備事業において、埋立工事が周辺海域に及ぼす影響を監視することを目的とする。

2. 調査日および調査内容

調査日および調査内容を表 2 に示す。

表 2 調査日および調査内容

調査日	水質調査		水生生物調査	調査内容
	定点監視	補助監視		
2月7日		○		現場機器測定
2月12日		○	○	現場機器測定 底質・底生生物、魚卵・稚仔魚 付着生物
2月20日	○	○	○	採水・分析及び現場機器測定 植物プランクトン、動物プランクトン
2月26日		○	○	現場機器測定 漁獲対象動植物（刺網設置）
2月27日			○	漁獲対象動植物（刺網回収、底引網の曳網）

3. 調査場所

岸和田市岸之浦町地先の阪南 2 区周辺海域において、水質の定点監視は St. 1～St. 4 の 4 地点、補助監視は護岸開口部の St. S－1、St. S－2 の 2 地点およびバックグラウンドを把握するため St. B－1～St. B－3 の 3 地点で行った。

底質の調査は St. 1～St. 4 の 4 地点、水生生物の動植物プランクトン、魚卵・稚仔魚、底生生物は St. 1～St. 4 の 4 地点、付着生物は St. A、St. B の 2 地点、漁獲対象動植物は St. イの 1 地点で行った。

調査地点の緯度、経度を表 3 に、調査地点を図 3 に示す。

表 3 調査位置と調査内容

調査位置			水質調査		底質調査	水生生物調査		
地点名	位置		定点監視	補助監視		動植物プランクトン、魚卵・稚仔魚、底生生物	付着生物	漁獲対象動植物
	北緯	東経						
St. 1	34° 28′ 57″	135° 20′ 57″	○		○	○		
St. 2	34° 28′ 02″	135° 20′ 42″	○		○	○		
St. 3	34° 29′ 12″	135° 21′ 43″	○		○	○		
St. 4	34° 28′ 02″	135° 21′ 22″	○		○	○		
St. S-1	34° 29′ 15″	135° 21′ 21″		○				
St. S-2	34° 28′ 14″	135° 20′ 46″		○				
St. B-1	34° 29′ 50″	135° 21′ 11″		○				
St. B-2	34° 28′ 57″	135° 20′ 31″		○				
St. B-3	34° 27′ 18″	135° 20′ 55″		○				
St. A	34° 28′ 31″	135° 20′ 55″					○	
St. B	34° 28′ 14″	135° 21′ 27″					○	
St. イ	34° 29′ 05″	135° 20′ 52″						○

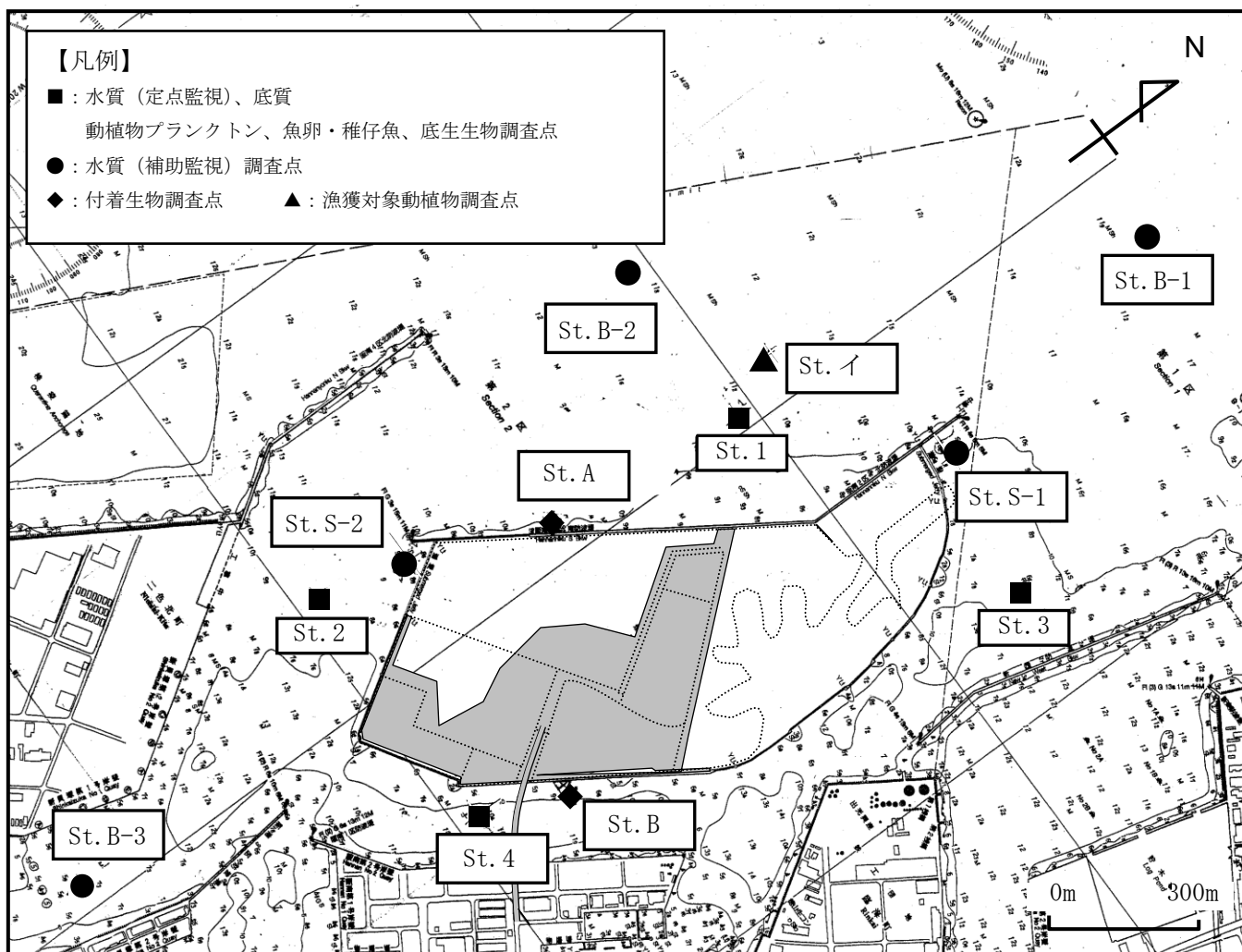


図3 調査地点

4. 調査結果

4-1 水質調査結果

4-1-1 定点監視結果および環境基準との比較

水質調査結果を表4-1-1-1～表4-1-1-2、現場機器測定結果を表4-1-1-3、定点監視野帳を表4-1-1-4に示す。また、環境基準との比較を表4-1-1-5～表4-1-1-6に示す。当調査海域の環境基準は、昭和46年環境庁告示第59号別表2「生活環境の保全に関する環境基準」の「2海域」における表アのC類型、表イのIV類型に該当する。

1) 調査地点の概況

特記事項はなし。

2) 現場機器測定

pHは、St. 1、2、3の上層において環境基準を満たしていなかった。

DOは、全地点全層において環境基準を満たしていた。

濁度は、全地点全層において特に高い値はみられなかった。

3) 採水分析項目

SSは、全地点全層において特に高い値はみられなかった。

VSSは、全地点全層において特に高い値はみられなかった。

CODは、全地点全層において環境基準を満たしていた。

全窒素は、全地点全層において環境基準を満たしていた。

全リンは、全地点全層において環境基準を満たしていた。

クロロフィルaは、全地点全層において特に高い値はみられなかった。

「人の健康の保護に関する環境基準」項目の結果は、硝酸性窒素を除いて報告下限値未満であり、全地点において環境基準を満たしていた。

特殊項目の結果は、亜鉛を除いて報告下限値未満であった。

表 4－1－1－1 水質調査結果(定点監視)

調査年月日：令和7年2月20日

項目\地点番号		St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	最小値	～	最大値	平均値
調査時刻		10:33	11:08	9:55	11:36				
水温 (℃)	上層	7.7	7.8	7.6	7.9	7.6	～	7.9	7.8
	下層	8.1	8.4	8.1	8.3	8.1	～	8.4	8.2
塩分	上層	31.0	30.9	30.8	30.8	30.8	～	31.0	30.9
	下層	31.6	31.7	31.5	31.6	31.5	～	31.7	31.6
濁度 度(カリン)	上層	<1	1	<1	1	<1	～	1	1
	下層	1	1	1	1	1	～	1	1
p H	上層	8.4	8.4	8.4	8.3	8.3	～	8.4	－
	下層	8.3	8.2	8.3	8.3	8.2	～	8.3	－
S S (mg/L)	上層	1	1	1	1	1	～	1	1
	下層	1	1	1	2	1	～	2	1
V S S (mg/L)	上層	<1	<1	<1	<1	<1	～	<1	<1
	下層	1	<1	1	<1	<1	～	1	1
C O D (mg/L)	上層	2.0	2.2	2.0	1.9	1.9	～	2.2	2.0
	下層	2.3	1.6	2.2	1.7	1.6	～	2.3	2.0
D O (mg/L)	上層	9.7	9.6	9.6	9.6	9.6	～	9.7	9.6
	下層	9.5	8.7	9.4	9.1	8.7	～	9.5	9.2
全窒素 (mg/L)	上層	0.30	0.38	0.31	0.35	0.30	～	0.38	0.34
	下層	0.27	0.22	0.32	0.28	0.22	～	0.32	0.27
全リン (mg/L)	上層	0.017	0.026	0.016	0.019	0.016	～	0.026	0.020
	下層	0.022	0.020	0.023	0.017	0.017	～	0.023	0.021
クロロフィルa (μg/L)	上層	1.9	2.1	1.9	1.9	1.9	～	2.1	2.0
	下層	5.8	3.5	4.4	2.1	2.1	～	5.8	4.0

測定層は上層：海面下1m、下層：海底面上2m

平均値は、下限値未満の場合は下限値を用いて計算した。（全地点が下限値未満の場合を除く。）

表 4-1-1-2 水質調査結果（健康項目等）

調査年月日：令和7年2月20日

項目\調査地点	単位	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4
カドミウム	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
全シアン	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
鉛	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
六価クロム	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
砒素	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
総水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
PCB	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
四塩化炭素	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
トリクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
チウラム	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
シマジン	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
ベンゼン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
セレン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
硝酸性窒素	mg/L	<0.04	<0.04	0.05	0.05
亜硝酸性窒素	mg/L	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
塩化ビニルモノマー(クロロエチレン)	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
フェノール類	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
銅	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
亜鉛	mg/L	0.006	0.004	0.004	0.005
溶解性鉄	mg/L	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08
溶解性マンガン	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
全クロム	mg/L	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03
n-ヘキサン抽出物質	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5

表 4－1－1－3 現場機器測定結果

調査地点	St.1					
時刻	10:33					
水深(m)	12.5					
項目 層(m)	水温 (℃)	塩分 (－)	pH (－)	DO (mg/L)	DO (%)	濁度 (度(耐光))
0.5	7.7	31.0	8.4	9.7	100	<1
1.0	7.7	31.0	8.4	9.7	100	<1
2.0	7.7	31.0	8.4	9.7	100	<1
3.0	7.7	31.0	8.3	9.7	100	<1
4.0	7.7	31.1	8.3	9.7	100	1
5.0	7.7	31.1	8.3	9.7	100	<1
6.0	7.7	31.1	8.3	9.7	100	<1
7.0	8.0	31.4	8.3	9.6	100	1
8.0	8.2	31.5	8.3	9.6	100	1
9.0	8.1	31.6	8.3	9.6	100	1
10.0	8.1	31.6	8.3	9.5	99	<1
11.0	－	－	－	－	－	－
12.0	－	－	－	－	－	－
13.0	－	－	－	－	－	－
14.0	－	－	－	－	－	－
15.0	－	－	－	－	－	－
B-2.0	8.1	31.6	8.3	9.5	99	1
B-1.0	8.2	31.7	8.3	9.3	97	1
B-0.5	8.3	31.7	8.3	9.2	97	1

調査年月日：令和7年2月20日						
調査地点	St.2					
時刻	11:08					
水深(m)	13.6					
項目 層(m)	水温 (℃)	塩分 (－)	pH (－)	DO (mg/L)	DO (%)	濁度 (度(耐光))
0.5	7.8	30.9	8.4	9.6	99	<1
1.0	7.8	30.9	8.4	9.6	99	1
2.0	7.8	30.9	8.4	9.6	99	<1
3.0	7.8	30.9	8.4	9.6	99	<1
4.0	7.8	31.0	8.4	9.6	99	<1
5.0	7.8	31.0	8.3	9.6	99	<1
6.0	8.1	31.2	8.3	9.5	99	1
7.0	8.2	31.5	8.3	9.5	99	1
8.0	8.2	31.6	8.3	9.3	97	1
9.0	8.3	31.7	8.3	9.0	94	1
10.0	8.3	31.7	8.3	8.9	93	1
11.0	8.4	31.7	8.2	8.7	92	1
12.0	－	－	－	－	－	－
13.0	－	－	－	－	－	－
14.0	－	－	－	－	－	－
15.0	－	－	－	－	－	－
B-2.0	8.4	31.7	8.2	8.7	92	1
B-1.0	8.4	31.7	8.2	8.8	93	1
B-0.5	8.4	31.8	8.2	8.8	93	2

調査地点	St.3					
時刻	9:55					
水深(m)	8.6					
項目 層(m)	水温 (℃)	塩分 (－)	pH (－)	DO (mg/L)	DO (%)	濁度 (度(耐光))
0.5	7.6	30.8	8.4	9.6	99	1
1.0	7.6	30.8	8.4	9.6	99	<1
2.0	7.6	30.8	8.4	9.6	99	<1
3.0	7.6	30.8	8.4	9.7	100	<1
4.0	7.7	30.9	8.4	9.8	101	<1
5.0	7.9	31.1	8.4	9.7	101	1
6.0	8.1	31.2	8.4	9.6	100	1
7.0	－	－	－	－	－	－
8.0	－	－	－	－	－	－
9.0	－	－	－	－	－	－
10.0	－	－	－	－	－	－
11.0	－	－	－	－	－	－
12.0	－	－	－	－	－	－
13.0	－	－	－	－	－	－
14.0	－	－	－	－	－	－
15.0	－	－	－	－	－	－
B-2.0	8.1	31.5	8.3	9.4	98	1
B-1.0	8.2	31.7	8.3	9.3	97	1
B-0.5	8.2	31.7	8.3	9.3	97	1

調査地点	St.4					
時刻	11:36					
水深(m)	11.3					
項目 層(m)	水温 (℃)	塩分 (－)	pH (－)	DO (mg/L)	DO (%)	濁度 (度(耐光))
0.5	7.9	30.8	8.3	9.7	100	<1
1.0	7.9	30.8	8.3	9.6	99	1
2.0	7.9	30.8	8.3	9.6	99	1
3.0	7.9	30.8	8.3	9.6	99	1
4.0	7.8	30.9	8.3	9.7	100	<1
5.0	7.9	30.9	8.3	9.7	100	<1
6.0	7.9	30.9	8.3	9.6	99	<1
7.0	8.1	31.0	8.3	9.5	99	<1
8.0	8.1	31.1	8.3	9.5	99	<1
9.0	8.2	31.3	8.3	9.4	98	<1
10.0	－	－	－	－	－	－
11.0	－	－	－	－	－	－
12.0	－	－	－	－	－	－
13.0	－	－	－	－	－	－
14.0	－	－	－	－	－	－
15.0	－	－	－	－	－	－
B-2.0	8.3	31.6	8.3	9.1	95	1
B-1.0	8.3	31.7	8.3	9.0	95	2
B-0.5	8.3	31.7	8.3	9.0	95	3

表 4 - 1 - 1 - 4 定点監視野帳

項目	単位	層	調査地点			
			St. 1	St. 2	St. 3	St. 4
調査日			2月20日	2月20日	2月20日	2月20日
調査開始時刻			10:33	11:08	9:55	11:36
天気・雲量			晴・4	晴・4	晴・4	晴・4
風向・風力			NW・3	NW・3	WNW・3	NW・2
風浪階級			2	2	2	1
気温	℃		5.8	6.1	5.1	6.0
水深	m		12.5	13.6	8.6	11.3
透明度	m		6.5	6.8	6.3	7.0
水色 (マンセル値)			deep green (5G3.5/7)	deep green (5G3.5/7)	deep green (5G3.5/7)	deep green (5G3.5/7)
赤潮の有無			無	無	無	無
油膜の有無			無	無	無	無
水温	℃	上	7.7	7.8	7.6	7.9
		下	8.1	8.4	8.1	8.3
透視度	cm	上	50<	50<	50<	50<
		下	50<	50<	50<	50<
流速	cm/sec	上	12.5	2.9	8.1	5.9
		下	6.6	9.9	11.9	9.5
流向	(°)	上	160	312	179	291
		下	221	29	226	16

注：測定層は、上層：海面下1m、下層：海底面上2m

表 4－1－1－5 定点監視調査結果と環境基準との比較

調査年月日：令和7年2月20日

項目\地点番号		St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	環境基準値 ^{注)}
pH	上層	×	×	×	○	7.0以上8.3以下
	下層	○	○	○	○	
COD	上層	○	○	○	○	8mg/L 以下
	下層	○	○	○	○	
DO	上層	○	○	○	○	2mg/L 以上
	下層	○	○	○	○	
全窒素	上層	○	○	○	○	1mg/L 以下
	下層	○	○	○	○	
全リン	上層	○	○	○	○	0.09mg/L 以下
	下層	○	○	○	○	

備考) ○：基準内 ×：基準外

注) 環境基準値は「生活環境の保全に関する環境基準」による。当調査海域はC類型、IV類型に該当。

表 4-1-1-6 定点監視調査結果（健康項目）と環境基準との比較

調査年月日：令和7年2月20日

項目\地点番号	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	環境基準値 ^{注1)}
カドミウム	○	○	○	○	0.003mg/L以下
全シアン	○	○	○	○	検出されないこと ^{注2)}
鉛	○	○	○	○	0.01mg/L以下
六価クロム	○	○	○	○	0.05mg/L以下
砒素	○	○	○	○	0.01mg/L以下
総水銀	○	○	○	○	0.0005mg/L以下
アルキル水銀	○	○	○	○	検出されないこと
PCB	○	○	○	○	検出されないこと
ジクロロメタン	○	○	○	○	0.02mg/L以下
四塩化炭素	○	○	○	○	0.002mg/L以下
1,2-ジクロロエタン	○	○	○	○	0.004mg/L以下
1,1-ジクロロエチレン	○	○	○	○	0.1mg/L以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	○	○	○	○	0.04mg/L以下
1,1,1-トリクロロエタン	○	○	○	○	1mg/L以下
1,1,2-トリクロロエタン	○	○	○	○	0.006mg/L以下
トリクロロエチレン	○	○	○	○	0.01mg/L以下
テトラクロロエチレン	○	○	○	○	0.01mg/L以下
1,3-ジクロロプロペン	○	○	○	○	0.002mg/L以下
チウラム	○	○	○	○	0.006mg/L以下
シマジン	○	○	○	○	0.003mg/L以下
チオベンカルブ	○	○	○	○	0.02mg/L以下
ベンゼン	○	○	○	○	0.01mg/L以下
セレン	○	○	○	○	0.01mg/L以下
硝酸性窒素	○	○	○	○	10mg/L以下
亜硝酸性窒素	○	○	○	○	
1,4-ジオキサン	○	○	○	○	0.05mg/L以下
塩化ビニルモノマー(クロロエチレン)	○	○	○	○	0.002mg/L以下 ^{注3)}

備考) ○：基準内 ×：基準外

注1) 環境基準値は「人の健康の保護に関する環境基準」による。

注2) 「検出されないこと」とは、分析方法に掲げる方法により分析した場合において、その結果が当該方法の定量下限値を下回ることをいう。

注3) 塩化ビニルモノマーについては、要監視項目の指針値と比較した。

4-1-2 補助監視結果および環境基準、監視基準との比較

水質調査結果を表4-1-2-1～表4-1-2-4、補助監視野帳を表4-1-2-5～表4-1-2-8に示す。また、環境基準との比較を表4-1-2-9、監視基準との比較を表4-1-2-10に示す。

なお、護岸開口部の St. S-1 と St. S-2 における濁度の監視基準は、バックグラウンドの最低値との差が上層は+3度（カオリン）未満、下層は+11度（カオリン）未満としている。

・ 2月7日

1) 調査地点の概況

特記事項はなし。

2) 現場機器測定

pH は、全地点全層において環境基準を満たしていた。

DO は、全地点全層において環境基準を満たしていた。

濁度は、St. S-1、B-1、B-2の上層および下層、St. B-3の下層においてやや高い値がみられたが、護岸開口部で監視基準値を超える濁りはみられなかった。

・ 2月12日

1) 調査地点の概況

特記事項はなし。

2) 現場機器測定

pH は、全地点の上層において環境基準を満たしていなかった。

DO は、全地点全層において環境基準を満たしていた。

濁度は、全地点全層において特に高い値はみられなかった。

・ 2月20日

1) 調査地点の概況

特記事項はなし。

2) 現場機器測定

pH は、全地点の上層において環境基準を満たしていなかった。

DO は、全地点全層において環境基準を満たしていた。

濁度は、全地点全層において特に高い値はみられなかった。

3) 採水分析項目

SS は、全地点全層において特に高い値はみられなかった。

VSS は、全地点全層において特に高い値はみられなかった。

- ・ 2月26日

1) 調査地点の概況

特記事項はなし。

2) 現場機器測定

pHは、St. S-1、S-2、B-1、B-2の上層において環境基準を満たしていなかった。

DOは、全地点全層において環境基準を満たしていた。

濁度は、全地点全層において特に高い値はみられなかった。

表 4-1-2-1 水質調査結果(補助監視地点)

調査年月日 : 令和7年2月7日

項目\地点番号		St. S-1	St. S-2	最小値	～	最大値	St. B-1	St. B-2	St. B-3	平均値
調査時刻		09 : 43	09 : 34	—			09 : 00	09 : 09	09 : 20	—
水温 (℃)	上層	7.9	7.8	7.8	～	7.9	8.0	7.9	7.4	7.8
	下層	7.9	7.9	7.9	～	7.9	8.0	8.2	7.3	7.8
塩分	上層	31.9	31.9	31.9	～	31.9	31.9	32.0	31.9	31.9
	下層	31.9	31.9	31.9	～	31.9	31.9	32.2	32.0	32.0
濁度 (カリン)	上層	4	3	3	～	4	4	4	3	4
	下層	5	3	3	～	5	4	4	4	4
pH	上層	8.3	8.3	8.3	～	8.3	8.3	8.3	8.3	—
	下層	8.3	8.3	8.3	～	8.3	8.3	8.3	8.3	—
備 考										

測定層は上層：海面下1m、下層：海底面上2m

表 4－1－2－2 水質調査結果(補助監視地点)

調査年月日 : 令和7年2月12日

項目\地点番号		St. S－1	St. S－2	最小値	～	最大値	St. B－1	St. B－2	St. B－3	平均値
調査時刻		09 : 37	09 : 26	—			09 : 00	09 : 11	09 : 19	—
水温 (℃)	上層	7.0	6.8	6.8	～	7.0	7.7	6.9	7.0	7.2
	下層	7.6	7.3	7.3	～	7.6	7.8	7.6	7.2	7.5
塩分	上層	31.2	30.9	30.9	～	31.2	31.4	31.2	31.3	31.3
	下層	31.8	31.6	31.6	～	31.8	32.1	31.9	31.6	31.9
濁度 (カリン)	上層	1	1	1	～	1	1	1	1	1
	下層	1	1	1	～	1	2	1	1	1
p H	上層	8.4	8.5	8.4	～	8.5	8.4	8.4	8.4	—
	下層	8.3	8.3	8.3	～	8.3	8.3	8.3	8.3	—
備 考										

測定層は上層：海面下1m、下層：海底面上2m

表 4-1-2-3 水質調査結果(補助監視地点)

調査年月日 : 令和7年2月20日

項目\地点番号		St. S-1	St. S-2	最小値	～	最大値	St. B-1	St. B-2	St. B-3	平均値
調査時刻		09 : 39	09 : 27	—			09 : 00	09 : 10	09 : 19	—
水温 (℃)	上層	7.7	7.8	7.7	～	7.8	7.7	7.7	7.7	7.7
	下層	8.2	8.4	8.2	～	8.4	8.3	8.2	7.9	8.1
塩分	上層	30.9	31.0	30.9	～	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0
	下層	31.7	31.7	31.7	～	31.7	31.8	31.8	31.0	31.5
濁度 (カリン)	上層	1	1	1	～	1	<1	<1	<1	<1
	下層	1	1	1	～	1	1	1	<1	1
pH	上層	8.4	8.4	8.4	～	8.4	8.4	8.4	8.4	—
	下層	8.3	8.3	8.3	～	8.3	8.3	8.3	8.4	—
SS(mg/L)	上層	1	1	1	～	1	1	1	1	1
	下層	1	1	1	～	1	1	1	1	1
VSS(mg/L)	上層	<1	<1	<1	～	<1	<1	<1	<1	<1
	下層	<1	<1	<1	～	<1	<1	<1	<1	<1
備 考										

測定層は上層：海面下1m、下層：海底面上2m

平均値は、下限値未満の場合は下限値を用いて計算した。（全地点が下限値未満の場合を除く。）

表 4－1－2－4 水質調査結果(補助監視地点)

調査年月日 : 令和7年2月26日

項目\地点番号		St. S－1	St. S－2	最小値	～	最大値	St. B－1	St. B－2	St. B－3	平均値
調査時刻		09 : 40	09 : 29	—			09 : 00	09 : 10	09 : 19	—
水温 (℃)	上層	7.7	7.8	7.7	～	7.8	7.7	7.8	7.8	7.8
	下層	8.0	7.7	7.7	～	8.0	8.4	8.2	7.8	8.1
塩分	上層	30.6	30.8	30.6	～	30.8	30.6	30.6	30.9	30.7
	下層	31.3	31.1	31.1	～	31.3	31.7	31.7	31.1	31.5
濁度 (カリン)	上層	1	1	1	～	1	1	1	1	1
	下層	1	1	1	～	1	1	1	1	1
p H	上層	8.4	8.4	8.4	～	8.4	8.4	8.4	8.3	—
	下層	8.3	8.3	8.3	～	8.3	8.3	8.3	8.3	—
備 考										

測定層は上層：海面下1m、下層：海底面上2m

表 4-1-2-5 補助監視野帳

令和7年2月7日

調査地点		St. S-1	St. S-2	St. B-1	St. B-2	St. B-3
調査開始時刻		09 : 43	09 : 34	09 : 00	09 : 09	09 : 20
天気・雲量		晴 ・ 6	晴 ・ 6	晴 ・ 4	晴 ・ 5	晴 ・ 6
風向・風力		SSW ・ 4	SSW ・ 4	NW ・ 3	NW ・ 3	SSW ・ 3
風浪階級		2	2	3	3	2
気温 (℃)		4.8	4.8	4.8	4.8	5.0
水深 (m)		10.8	10.1	13.3	13.6	8.5
透明度 (m)		2.5	2.6	2.5	2.7	2.7
水色		strong yellowish green	strong yellowish green	strong yellowish green	strong yellowish green	dark bluish green
(マンセル値)		10GY4.5/7	10GY4.5/7	10GY4.5/7	10GY4.5/7	10G2.4/3
赤潮の状態		無	無	無	無	無
油膜の有無		無	無	無	無	無
水温 (℃)	上層	7.9	7.8	8.0	7.9	7.4
	下層	7.9	7.9	8.0	8.2	7.3
pH (－)	上層	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3
	下層	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3
塩分 (－)	上層	31.9	31.9	31.9	32.0	31.9
	下層	31.9	31.9	31.9	32.2	32.0
DO (mg/L)	上層	9.7	9.6	9.7	9.6	9.6
	下層	9.7	9.6	9.6	9.4	9.4
DO飽和度 (%)	上層	101	100	101	100	99
	下層	101	100	100	99	97
濁度 (度(カリン))	上層	4	3	4	4	3
	下層	5	3	4	4	4
濁度 (BGとの差)	上層	+1	0	バックグラウンド (BG) 値= 3		
	下層	+1	-1	バックグラウンド (BG) 値= 4		

測定層は、上層：海面下1m、下層：海底面上2m

濁度 (バックグラウンド値との差) は、「各点各層濁度」-「バックグラウンドの濁度最小値」とし、下限値未満 (<1) は「1」として計算した。

濁度の監視基準 (バックグラウンド値との差) は、上層が3度・カリン未満、下層が11度・カリン未満

表 4-1-2-6 補助監視野帳

令和7年2月12日

調査地点		St. S-1	St. S-2	St. B-1	St. B-2	St. B-3
調査開始時刻		09 : 37	09 : 26	09 : 00	09 : 11	09 : 19
天気・雲量		晴 ・ 8	晴 ・ 8	晴 ・ 8	晴 ・ 8	晴 ・ 8
風向・風力		WSW ・ 1	WSW ・ 1	SW ・ 1	SW ・ 1	WSW ・ 1
風浪階級		1	1	1	1	1
気温 (℃)		5.0	4.9	5.3	5.4	5.1
水深 (m)		11.2	10.6	13.4	13.8	9.0
透明度 (m)		5.0	4.3	4.6	6.0	4.9
水色		dark yellowish green	dark yellowish green	dark yellowish green	dark green	dark yellowish green
(マンセル値)		10GY3/4	10GY3/4	10GY3/4	5G2.4/3	10GY3/4
赤潮の状態		無	無	無	無	無
油膜の有無		無	無	無	無	無
水温 (℃)	上層	7.0	6.8	7.7	6.9	7.0
	下層	7.6	7.3	7.8	7.6	7.2
pH (－)	上層	8.4	8.5	8.4	8.4	8.4
	下層	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3
塩分 (－)	上層	31.2	30.9	31.4	31.2	31.3
	下層	31.8	31.6	32.1	31.9	31.6
DO (mg/L)	上層	10	11	10	11	10
	下層	9.7	9.7	9.2	10	10
DO飽和度 (%)	上層	110	115	111	111	108
	下層	100	99	96	103	103
濁度 (度(カリン))	上層	1	1	1	1	1
	下層	1	1	2	1	1
濁度 (BGとの差)	上層	0	0	バックグラウンド (BG) 値= 1		
	下層	0	0	バックグラウンド (BG) 値= 1		

測定層は、上層：海面下1m、下層：海底面上2m

濁度 (バックグラウンド値との差) は、「各点各層濁度」-「バックグラウンドの濁度最小値」とし、下限値未満 (<1) は「1」として計算した。

濁度の監視基準 (バックグラウンド値との差) は、上層が3度・カリン未満、下層が11度・カリン未満

表 4-1-2-7 補助監視野帳

令和7年2月20日

調査地点		St. S-1	St. S-2	St. B-1	St. B-2	St. B-3
調査開始時刻		09 : 39	09 : 27	09 : 00	09 : 10	09 : 19
天気・雲量		晴 ・ 5	晴 ・ 5	晴 ・ 5	晴 ・ 5	晴 ・ 5
風向・風力		WNW ・ 2	WNW ・ 3	W ・ 3	W ・ 3	NW ・ 2
風浪階級		2	2	3	3	1
気温 (°C)		4.8	4.6	4.5	4.5	4.7
水深 (m)		11.1	10.7	13.2	13.5	8.8
透明度 (m)		6.0	7.0	6.8	6.4	6.2
水色		deep green	deep green	deep green	deep green	deep green
(マンセル値)		5G3.5/7	5G3.5/7	5G3.5/7	5G3.5/7	5G3.5/7
赤潮の状態		無	無	無	無	無
油膜の有無		無	無	無	無	無
水温 (°C)	上層	7.7	7.8	7.7	7.7	7.7
	下層	8.2	8.4	8.3	8.2	7.9
pH (－)	上層	8.4	8.4	8.4	8.4	8.4
	下層	8.3	8.3	8.3	8.3	8.4
塩分 (－)	上層	30.9	31.0	31.0	31.0	31.0
	下層	31.7	31.7	31.8	31.8	31.0
DO (mg/L)	上層	9.6	9.6	9.8	9.7	9.5
	下層	9.2	8.6	9.2	9.3	9.5
DO飽和度 (%)	上層	99	99	101	100	98
	下層	96	91	97	97	98
濁度 (度(カリン))	上層	1	1	<1	<1	<1
	下層	1	1	1	1	<1
濁度 (BGとの差)	上層	0	0	バックグラウンド (BG) 値= <1		
	下層	0	0	バックグラウンド (BG) 値= <1		

測定層は、上層：海面下1m、下層：海底面上2m

濁度 (バックグラウンド値との差) は、「各点各層濁度」-「バックグラウンドの濁度最小値」とし、下限値未満 (<1) は「1」として計算した。

濁度の監視基準 (バックグラウンド値との差) は、上層が3度・カリン未満、下層が11度・カリン未満

表 4-1-2-8 補助監視野帳

令和7年2月26日

調査地点		St. S - 1	St. S - 2	St. B - 1	St. B - 2	St. B - 3
調査開始時刻		09 : 40	09 : 29	09 : 00	09 : 10	09 : 19
天気・雲量		晴 ・ 5	晴 ・ 5	晴 ・ 5	晴 ・ 5	晴 ・ 5
風向・風力		SSE ・ 3	SSE ・ 3	S ・ 3	S ・ 3	SSE ・ 2
風浪階級		2	2	2	2	1
気温 (℃)		11.1	11.0	10.7	10.7	10.9
水深 (m)		11.4	10.8	13.5	13.8	8.9
透明度 (m)		6.0	6.0	5.8	5.5	6.7
水色		deep green	deep green	deep green	deep green	deep green
(マンセル値)		5G3.5/7	5G3.5/7	5G3.5/7	5G3.5/7	5G3.5/7
赤潮の状態		無	無	無	無	無
油膜の有無		無	無	無	無	無
水温 (℃)	上層	7.7	7.8	7.7	7.8	7.8
	下層	8.0	7.7	8.4	8.2	7.8
pH (－)	上層	8.4	8.4	8.4	8.4	8.3
	下層	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3
塩分 (－)	上層	30.6	30.8	30.6	30.6	30.9
	下層	31.3	31.1	31.7	31.7	31.1
DO (mg/L)	上層	9.9	9.7	10	9.9	9.5
	下層	9.3	9.2	8.6	9.0	9.4
DO飽和度 (%)	上層	102	100	105	102	98
	下層	97	95	91	94	97
濁度 (度(カリン))	上層	1	1	1	1	1
	下層	1	1	1	1	1
濁度 (BGとの差)	上層	0	0	バックグラウンド (BG) 値= 1		
	下層	0	0	バックグラウンド (BG) 値= 1		

測定層は、上層：海面下1m、下層：海底面上2m

濁度 (バックグラウンド値との差) は、「各点各層濁度」 - 「バックグラウンドの濁度最小値」とし、下限値未満 (<1) は「1」として計算した。

濁度の監視基準 (バックグラウンド値との差) は、上層が3度・カリン未満、下層が11度・カリン未満

表 4-1-2-9 補助監視調査結果の環境基準との比較

調査日	項目\地点番号		St. S-1	St. S-2	St. B-1	St. B-2	St. B-3
2月7日	pH	上層	○	○	○	○	○
		下層	○	○	○	○	○
	DO	上層	○	○	○	○	○
		下層	○	○	○	○	○
2月12日	pH	上層	×	×	×	×	×
		下層	○	○	○	○	○
	DO	上層	○	○	○	○	○
		下層	○	○	○	○	○
2月20日	pH	上層	×	×	×	×	×
		下層	○	○	○	○	×
	DO	上層	○	○	○	○	○
		下層	○	○	○	○	○
2月26日	pH	上層	×	×	×	×	○
		下層	○	○	○	○	○
	DO	上層	○	○	○	○	○
		下層	○	○	○	○	○

備考) ○ : 基準内 × 基準外

注) 環境基準値は「生活環境の保全に関する環境基準」による。当調査海域はC類型に該当。

pH : 7.0 以上 8.3 以下 DO : 2mg/L 以上

表 4-1-2-10 補助監視点の濁度(バックグラウンド値との差)

調査日	項目\地点番号	St. S- 1	評価	St. S- 2	評価	バックグラウンド(BG) 値
2月7日	上層	+1	○	0	○	3
	下層	+1	○	-1	○	4
2月12日	上層	0	○	0	○	1
	下層	0	○	0	○	1
2月20日	上層	0	○	0	○	<1
	下層	0	○	0	○	<1
2月26日	上層	0	○	0	○	1
	下層	0	○	0	○	1

備考) ○ : 基準内 × 基準外

注) 濁度 (BG との差) の計算は、「各点各層濁度」－「バックグラウンドの濁度最小値」とし、下限値未満 (< 1) は「1」として計算した。

4－2 底質調査結果

底質調査結果のうち、含有試験の結果を表4－2－1、溶出試験の結果を表4－2－2、底質調査野帳を表4－2－3に示す。

粒度組成の結果は、St. 3は砂分が高く、St. 2、4はシルト分および粘土分が高い土質であり、St. 1は砂分とシルト分・粘土分が同程度の土質であった。

その他の項目では、特に高い値はみられなかった。

溶出試験の分析結果は、フッ化物以外の項目において報告下限値未満であり、フッ化物を含めて水底土砂の判定基準値未満であった。

表4-2-1 底質（含有試験）調査結果

調査年月日：令和7年2月12日

項目\地点番号		St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	最小値	～	最大値	平均値
調査時刻		10:47	11:42	9:50	12:30	—			—
粒度組成（％）	粗礫分（19～75mm）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	～	0.0	0.0
	中礫分（4.75～19mm）	2.7	0.0	8.0	0.0	0.0	～	8.0	2.7
	細礫分（2.00～4.75mm）	6.2	4.9	12.4	0.0	0.0	～	12.4	5.9
	粗砂分（0.850～2.00mm）	10.5	9.9	14.4	0.0	0.0	～	14.4	8.7
	中砂分（0.250～0.850mm）	17.1	2.7	29.2	2.2	2.2	～	29.2	12.8
	細砂分（0.075～0.250mm）	12.4	2.7	16.3	2.3	2.3	～	16.3	8.4
	シルト分（0.005～0.075mm）	17.9	22.3	5.8	21.4	5.8	～	22.3	16.9
	粘土分（0.005mm以下）	33.2	66.5	13.9	74.1	13.9	～	74.1	46.9
COD（mg/g 乾泥）		10	28	9.3	31	9.3	～	31	20
全硫化物（mg/g 乾泥）		0.14	0.54	0.13	1.4	0.13	～	1.4	0.55
全窒素（mg/g 乾泥）		0.71	2.3	0.28	1.6	0.28	～	2.3	1.2
全リン（mg/g 乾泥）		0.35	0.45	0.28	0.42	0.28	～	0.45	0.38
強熱減量（％）		4.3	11.5	3.3	10.0	3.3	～	11.5	7.3
含水率（％）		49.8	72.8	32.9	79.6	32.9	～	79.6	58.8
pH		7.7	7.8	7.7	7.7	7.7	～	7.8	7.7
総水銀（mg/kg）		0.20	0.18	0.10	0.12	0.10	～	0.20	0.15
PCB（mg/kg）		<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	～	<0.01	<0.01
有機塩素化合物（mg/kg）		<4	<4	<4	<4	<4	～	<4	<4
ノルマルヘキサン抽出物質（mg/g）		<0.5	0.7	<0.5	1.4	<0.5	～	1.4	0.8
酸化還元電位（mV）		20	-85	90	-132	-132	～	90	-27

注1) 酸化還元電位の値は、標準水素電極の値に換算したものである。

注2) 平均値は、下限値未満の場合は下限値を用いて計算した。（全地点が下限値未満の場合を除く。）

表 4-2-2 底質（溶出試験）調査結果

調査年月日：令和7年2月12日

項目\地点番号	単位	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4
アルキル水銀化合物	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
水銀又はその化合物	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
カドミウム又はその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
鉛又はその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
有機りん化合物	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
六価クロム化合物	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
砒素又はその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
シアン化合物	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
PCB	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
銅又はその化合物	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
亜鉛又はその化合物	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
フッ化物	mg/L	0.2	0.4	0.1	0.5
トリクロロエチレン	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
ベリリウム又はその化合物	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
クロム又はその化合物	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
ニッケル又はその化合物	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
バナジウム又はその化合物	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
ジクロロメタン	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
四塩化炭素	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
チウラム	mg/L	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006
シマジン	mg/L	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
チオベンカルブ	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
ベンゼン	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
セレン又はその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
1,4-ジオキサン	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05

表 4－2－3 底質調査野帳

調査年月日：令和7年2月12日

調 査 点	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4
調査開始時刻	10:47	11:42	9:50	12:30
天気・雲量	晴 ・ 8	雨 ・ 9	晴 ・ 8	雨 ・ 9
風向・風力	WSW ・ 1	NW ・ 2	WSW ・ 1	N ・ 1
風浪階級	1	1	1	1
気温 (℃)	5.7	5.9	5.4	5.9
水深 (m)	13.0	13.6	8.6	11.8
臭 気	無	中硫化水素臭	無	中硫化水素臭
泥温 (℃)	8.1	8.3	7.9	8.4
性 状	砂礫混じりシルト	シルト	砂礫混じりシルト	シルト
泥 色	olive black	olive black	olive black	olive black
	7.5Y3/1	7.5Y3/1	7.5Y3/1	7.5Y3/1
夾 雑 物	貝片・ゴカイ	貝片・ゴカイ	貝片・ゴカイ	貝片
酸化還元電位 (mV)	20	-85	90	-132
特記事項				

4-3 水生生物調査結果

4-3-1 植物プランクトン調査結果

植物プランクトン調査結果の概要を表4-3-1-1、出現種一覧を表4-3-1-2、出現種ごとの細胞数を表4-3-1-3、水平分布を図4-3-1に示す。

上層の種類数は24~25種類の範囲にあり、St. 2、3で最も多かった。下層の種類数は24~27種類の範囲にあり、St. 2で最も多かった。総種類数は41種類であった。

上層の細胞数は185,240~320,530細胞/Lの範囲にあり、St. 2で最も多かった。全地点の平均細胞数は230,865細胞/Lであった。下層の細胞数は165,750~416,090細胞/Lの範囲にあり、St. 2で最も多かった。全地点の平均細胞数は282,575細胞/Lであった。

上層の沈殿量は0.05未満~0.15mL/Lであった。下層の沈殿量は0.05未満~0.40mL/Lの範囲にあった。

主要種のうち最も多く出現したのは、上層は全地点で珪藻綱のニッチア属であった。下層は、St. 1、2、4ではニッチア属、St. 3では珪藻綱の *Skeletonema costatum*(スケルトネコスターツム)であった。全地点平均の主要種は、上層下層とも珪藻綱のニッチア属、*Skeletonema costatum*であり、ニッチア属は上層では52.4%を、下層では48.7%を占めていた。

主要種は内湾から沿岸域で普通にみられる種類であった。

4-3-2 動物プランクトン調査結果

動物プランクトン調査結果の概要を表4-3-2-1、出現種一覧を表4-3-2-2、出現種ごとの個体数を表4-3-2-3、水平分布を図4-3-2に示す。

種類数は19~23種類の範囲にあり、St. 4で最も多かった。総種類数は27種類であった。

個体数は23,478~38,661個体/m³の範囲にあり、St. 4で最も多かった。全地点の平均個体数は33,469個体/m³であった。

沈殿量は5.0~6.2mL/m³の範囲にあり、St. 3で最も多かった。全地点の平均沈殿量は5.6mL/m³であった。

主要種のうち最も多く出現したのは、St. 1、2、4では節足動物門のカイアシ目のノープリウス幼生、St. 3では節足動物門のノルドマンエボシミジンコであった。全地点平均の主要種は、節足動物門のカイアシ目のノープリウス幼生、節足動物門のノルドマンエボシミジンコであり、このうちカイアシ目のノープリウス幼生が36.1%を占めていた。

いずれの主要種も内湾から沿岸域で普通にみられる種類であった。

4-3-3 底生生物調査結果

底生生物調査結果の概要を表4-3-3-1、出現種一覧を表4-3-3-2、個体数および湿重量をそれぞれ表4-3-3-3、表4-3-3-4、水平分布を図4-3-3に示す。

種類数は6～59種類の範囲にあり、St. 3で最も多かった。総種類数は62種類であった。

個体数は23～834個体/0.1m²の範囲にあり、St. 3で最も多かった。全地点の平均個体数は273個体/0.1m²であった。

湿重量は0.26～12.62g/0.1m²の範囲にあり、St. 3で最も多かった。全地点の平均湿重量は4.20g/0.1m²であった。

個体数からみた主要種のうち最も多く出現したのは、St. 1、2では環形動物門の *Paraprionospio* sp. (A型) (パラプリオノスピオ属(A型))、St. 3では軟体動物門のホトトギス、St. 4では軟体動物門のシズクガイであった。

全地点平均の主要種は軟体動物門のホトトギス、環形動物門の *Pseudopolydora* sp. (プセウドポリドラ属)、環形動物門の *Paraprionospio* sp. (A型) (パラプリオノスピオ属(A型))であり、このうちホトトギスが22.2%を占めていた。

いずれの主要種も内湾から沿岸域で普通にみられる種類であった。

4-3-4 魚卵・稚仔魚調査結果

魚卵調査結果の概要を表4-3-4-1、出現種一覧を表4-3-4-2、出現種ごとの個数を表4-3-4-3、水平分布を図4-3-4-1に示す。

また、稚仔魚調査結果の概要を表4-3-4-4、出現種一覧を表4-3-4-5、出現種ごとの個体数を表4-3-4-6、水平分布を図4-3-4-2に示す。

4-3-4-1 魚卵

出現しなかった。

当海域における過年度の調査において、冬季調査では魚卵の出現数は非常に少ない、あるいは全く出現しない状況であり、今回の調査においても過年度と同様の状況であった。

4-3-4-2 稚仔魚

種類数は1～4種類の範囲にあり、総種類数は6種類であった。

個体数は53～169 個体/1,000m³の範囲にあり、St. 3、4で最も多かった。全地点の平均個体数は138 個体/1,000m³であった。

最も多く出現したのは、全地点でカサゴであった。全地点平均の主要種はカサゴであり、92.2%を占めていた。

主要種は内湾から沿岸域で普通にみられる種類であった。

4-3-5 付着生物調査結果

ベルトトランセクト法による付着生物出現種一覧を表4-3-5-1、付着生物(植物)の藻長測定結果を表4-3-5-2、調査測点断面模式を図4-3-5-1、主な付着生物の鉛直分布を図4-3-5-2に示す。

坪刈り法による付着生物(植物)調査結果の概要を表4-3-5-3、出現種一覧を表4-3-5-4、出現種ごとの湿重量を表4-3-5-5に示す。また、付着生物(動物)調査結果の概要を表4-3-5-6、出現種一覧を表4-3-5-7、出現種ごとの個体数および湿重量をそれぞれ表4-3-5-8、表4-3-5-9に示す。

4-3-5-1 調査地点概要

調査地点は阪南港阪南2区内にある防波堤に位置する。St. Aはコンクリートケーソンで、海底付近は砂泥が堆積していた。St. Bは捨て石式傾斜堤で上部は被覆石が積まれている。海底付近では砂泥が堆積していた。

4-3-5-2 ベルトトランセクト法(目視観察)

各観察枠で、被度が10%以上、または個体数が10個体以上の出現種について以下に示す。

① 植物

St. Aでは、平均水面上0.5m付近にアマノリ属が生育していた。

St. Bでは、平均水面上0.5m付近にアマノリ属が、水深1.0mから1.5m付近にシオグサ属およびボタンアオサが、水深1.0m付近にオキツノリが、水深1.5mから5.5m付近にショウジョウケノリが、水深2.0m付近にワカメが、水深3.5mから4.0m付近にシキンノリが、水深6.0m付近にイギス科が生育していた。

② 動物

St. Aでは、平均水面上1.0m付近にアラレタマキビガイ、イワフジツボが、平均水面上0.5m付近にマガキおよびタテジマイソギンチャクが、平均水面から水深2.0m付近にカンザシゴカイ科が、平均水面から水深6.0m付近に群体性ホヤ類が、水深1.5mから5.5m付近にフサコケムシが、水深4.5から5.0m付近にヒメホウキムシが生息していた。

St. Bでは、水深0.5m付近にマガキおよびキクノハナガイが、水深3.0m付近にヒメホウキムシが生息していた。

4-3-5-3 坪刈り法

① 植物

St. Aの各層の種類数は2～6種類、St. Bの各層の種類数は3～16種類の範囲にあり、St. Bの下層で最も多かった。総種類数は22種類であった。

St. Aの各層の湿重量は0.28～1.85g/0.09m²、St. Bの各層の湿重量は5.57～61.35g/0.09m²の範囲にあり、St. Bの下層で最も多かった。全地点の平均湿重量は12.92g/0.09m²であった。

湿重量からみた主要種のうち最も多く出現したのは、St. Aの上層ではアマノリ属、St. Aの中層ではシオグサ属、St. Aの下層ではイギス属、St. Bの上層ではアマノリ属、St. Bの中層、下層ではショウジョウケノリであった。全地点平均の主要種は、ショウジョウケノリであり、49.9%を占めていた。

いずれの主要種も内湾から沿岸域で普通にみられる種類であった。

② 動物

St. Aの各層の種類数は36～44種類、St. Bの各層の種類数は7～48種類の範囲にあり、St. Bの下層で最も多かった。総種類数は101種類であった。

St. Aの各層の個体数は1,643～2,957 個体/0.09m²、St. Bの各層の個体数は14～1,205 個体/0.09m²の範囲にあり、St. Aの下層で最も多かった。全地点の平均個体数は1,302 個体/0.09m²であった。

St. Aの各層の湿重量は、34.79～386.46g/0.09m²、St. Bの各層の湿重量は0.72～52.55g/0.09m²の範囲にあり、St. Aの下層で最も多かった。全地点の平均湿重量は122.52g/0.09m²であった。

個体数からみた主要種のうち最も多く出現したのは、St. Aの上層では軟体動物門のイワホリガイ科、St. Aの中層では節足動物門のサンカクフジツボ、St. Aの下層では環形動物門のエゾカサネカンザシ、St. Bの上層では節足動物門のシリケンウミセミ、St. Bの中層では環形動物門のエゾカサネカンザシ、St. Bの下層では軟体動物門のタマツボであった。全地点平均の主要種は、エゾカサネカンザシ、サンカクフジツボ、環形動物門の*Dodecaceria* sp. で、このうちエゾカサネカンザシが23.8%を占めていた。

湿重量からみた主要種のうち最も多く出現したのは、St. Aの上層では軟体動物門のイワホリガイ科、St. Aの中層では原索動物門のポリクリニ科、St. Aの下層では触手動物門のフサコケムシ科、St. Bの上層では軟体動物門のキクノハナガイ、St. Bの中層では軟体動物門のイボニシ、St. Bの下層では節足動物門のサンカクフジツボであった。全地点平均の主要種は、ポリクリニ科、フサコケムシ科、サンカクフジツボで、このうちポリクリニ科が25.0%を占めていた。

いずれの主要種も内湾から沿岸域で普通にみられる種類であった。

4-3-6 漁獲対象動植物調査結果

刺網調査結果の概要を表4-3-6-1、主要種を表4-3-6-2、種類ごとの個体数および湿重量を表4-3-6-3、種類ごとの測定結果概要を表4-3-6-4、個体ごとの測定結果（一種類あたり上限約50個体）を表4-3-6-5に示す。また、底引網調査結果の概要を表4-3-6-6、主要種を表4-3-6-7、種類ごとの個体数および湿重量を表4-3-6-8、種類ごとの測定結果概要を表4-3-6-9、個体ごとの測定結果（一種類あたり上限約50個体）を表4-3-6-10に示す。

4-3-6-1 刺網

種類数は魚類が2種類であり、総種類数は2種類であった。

個体数は1網あたり、魚類が4個体であり、総個体数は4個体であった。

湿重量は1網あたり、魚類が1,401.5gであり、総湿重量は1,401.5gであった。

個体数からみた主要種のうち最も多く出現したのは、魚類でマコガレイ、イヌノシタが2個体ずつであった。

湿重量からみた主要種のうち最も多く出現したのは、魚類でイヌノシタであった。

いずれの主要種も内湾から沿岸域で普通にみられる種類であった。

4-3-6-2 底引網

種類数は魚類が6種類、甲殻類が11種類、頭足類が1種類、その他が1種類であり、総種類数は19種類であった。

個体数は1網あたり、魚類が11個体、甲殻類が116個体、頭足類が1個体、その他が2個体であり、総個体数は130個体であった。

湿重量は1網あたり、魚類が1,747.6g、甲殻類が846.7g、頭足類が10.6g、その他が114.0gであり、総湿重量は2,718.9gであった。

個体数からみた主要種のうち最も多く出現したのは、魚類ではイヌノシタ、甲殻類ではテナガゴブシ、頭足類ではマダコ、その他ではアカガイであった。

湿重量からみた主要種のうち最も多く出現したのは、魚類ではクロダイ、甲殻類ではタイワンガザミ、頭足類ではマダコ、その他ではアカガイであった。

いずれの主要種も内湾から沿岸域で普通にみられる種類であった。

表 4－3－1－1 (1) 植物プランクトン調査結果概要(上層) [令和 6 年度冬季分]

調査年月日:令和 7年 2月20日

項目 \ 調査点	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	平均 (最小 ～ 最大)
種 類 数	24	25	25	24	34 (24 ～ 25)
細 胞 数	221, 170	320, 530	196, 520	185, 240	230, 865 (185, 240 ～ 320, 530)
沈 殿 量 (mL)	<0. 05	0. 15	<0. 05	<0. 05	0. 04 (<0. 05 ～ 0. 15)
主 要 種 細 胞 数 (カッコ内は組成比：%)	ニッチア属 115, 200 (52. 1)	ニッチア属 163, 400 (51. 0)	ニッチア属 111, 600 (56. 8)	ニッチア属 93, 600 (50. 5)	ニッチア属 120, 950 (52. 4)
	スケルトネマ コスターツム 54, 400 (24. 6)	スケルトネマ コスターツム 72, 000 (22. 5)	スケルトネマ コスターツム 43, 200 (22. 0)	スケルトネマ コスターツム 46, 800 (25. 3)	スケルトネマ コスターツム 54, 100 (23. 4)
		フ°ラシノ藻綱 43, 200 (13. 5)			

- 注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。
 2. 主要種は各調査点での上位 5 種(ただし組成比 10%以上のもの)を示す。
 3. 細胞数、沈殿量は 1L あたりの数値で示す。

表 4－3－1－1 (2) 植物プランクトン調査結果概要(下層) [令和 6 年度冬季分]

調査年月日:令和 7年 2月20日

項目 \ 調査点	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	平均 (最小 ～ 最大)
種 類 数	24	27	26	25	37 (24 ～ 27)
細 胞 数	261,340	416,090	287,120	165,750	282,575 (165,750 ～ 416,090)
沈 殿 量 (mL)	0.05	0.40	0.10	<0.05	0.15 (<0.05 ～ 0.40)
主 要 種 細 胞 数 (カッコ内は組成比：%)	ニッチア属 154,800 (59.2) スケルトネマ コスターツム 39,600 (15.2)	ニッチア属 216,000 (51.9) スケルトネマ コスターツム 131,200 (31.5)	スケルトネマ コスターツム 104,400 (36.4) ニッチア属 97,200 (33.9) フ°ラシノ藻綱 28,800 (10.0)	ニッチア属 82,800 (50.0) スケルトネマ コスターツム 32,400 (19.5) フ°ラシノ藻綱 18,000 (10.9)	ニッチア属 137,700 (48.7) スケルトネマ コスターツム 76,900 (27.2)

- 注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。
2. 主要種は各調査点での上位 5 種(ただし組成比 10%以上のもの)を示す。
3. 細胞数、沈殿量は 1L あたりの数値で示す。

表4-3-1-2 植物プランクトン出現種一覧 [令和6年度冬季分]

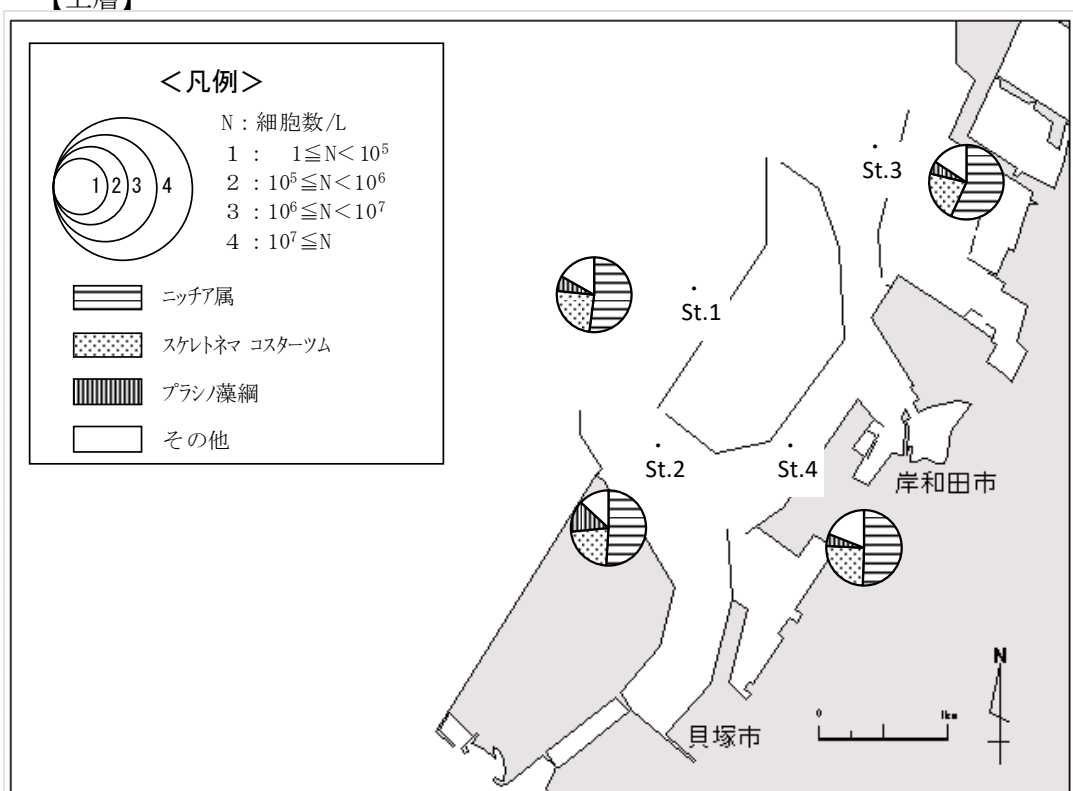
調査年月日: 令和 7年 2月20日						
番号	門	綱	目	科	学名	和名、読み方
1	クリプト植物	クリプト藻	クリプトモナス	—	CRYPTOMONADALES	クリプトモナス目
2	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	プロセントラム	プロセントラム	<i>Prorocentrum micans</i>	
3					<i>Prorocentrum minimum</i>	
4			ディノフィシス	オキシフィレン	<i>Oxyphysis oxytoxoides</i>	
5					<i>Dinophysis acuminata</i>	
6			ギムノテニウム	ギムノテニウム	<i>Gyrodinium</i> spp.	
7					Gymnodiniaceae	ギムノテニウム科
8			ノクティルカ	ノクティルカ	<i>Noctiluca scintillans</i>	
9					<i>Ceratium furca</i>	
10			ヘリテニウム	セラチウム	<i>Ceratium fusus</i>	
11					<i>Ceratium kofoidii</i>	
12					<i>Ceratium tripos</i>	
13					<i>Protoperidinium bipes</i>	
14			ヘリテニウム	プロトペリディニウム	<i>Protoperidinium depressum</i>	
15					<i>Protoperidinium pellucidum</i>	
16					<i>Protoperidinium</i> spp.	
17	黄色植物	珪藻	円心	デトナラ	<i>Detonula pumila</i>	
18					<i>Skeletonema costatum</i>	スケルトネマ コスターム
19					<i>Thalassiosira rotula</i>	
20					<i>Thalassiosira</i> spp.	
21			円心	レプトシリンダス	<i>Leptocylindrus danicus</i>	
22					<i>Coscinodiscus wailesii</i>	
23					<i>Coscinodiscus</i> spp.	
24					<i>Actinocyclus senarius</i>	
25			円心	グイナディア	<i>Guinardia flaccida</i>	
26					<i>Rhizosolenia fragilissima</i>	
27					<i>Rhizosolenia setigera</i>	
28					<i>Rhizosolenia stolterfothii</i>	
29			円心	ユーカンピア	<i>Eucampia zodiacus</i>	
30					<i>Chaetoceros affine</i>	
31					<i>Chaetoceros danicum</i>	
32					<i>Chaetoceros debile</i>	
33					<i>Chaetoceros</i> spp.	
34			羽状	テラシオン	<i>Thalassionema nitzschioides</i>	
35					<i>Thalassiothrix frauenfeldii</i>	
36				プレウロシグマ	<i>Pleurosigma</i> spp.	
37					<i>Nitzschia longissima</i>	
38			羽状	ニッツシア	<i>Nitzschia pungens</i>	
39					<i>Nitzschia</i> spp.	ニッツシア属
40	ミドリ植物	ミドリ藻	—	—	EUGLENOPHYCEAE	ミドリ藻綱
41	緑色植物	グリーン藻	—	—	PRASINOPHYCEAE	グリーン藻綱

表 4－3－1－3 植物プランクトン調査結果(細胞数) [令和 6 年度冬季分]

調査年月日:令和 7年 2月20日													
		調査点		St. 1		St. 2		St. 3		St. 4		合計	
番号	学名	層	上層	下層	上層	下層	上層	下層	上層	下層	上層	下層	全層
1	CRYPTOMONADALES		200	800	800	2,000	800	1,200	400	800	2,200	4,800	7,000
2	<i>Prorocentrum micans</i>			60	200	100		40			200	200	400
3	<i>Prorocentrum minimum</i>									60		60	60
4	<i>Oxyphysis oxytoxoides</i>		400			800	400				800	800	1,600
5	<i>Dinophysis acuminata</i>		100	220	60	140	320	580	180	200	660	1,140	1,800
6	<i>Eyrodinium</i> spp.		360	900	480	2,400	60	200	800	500	1,700	4,000	5,700
7	Gymnodiniaceae					200		160				360	360
8	<i>Noctiluca scintillans</i>		30	60	140	110	40	20	200	60	410	250	660
9	<i>Ceratium furca</i>		1,200	2,800	4,400	2,800	1,600	4,000	2,400	800	9,600	10,400	20,000
10	<i>Ceratium fusus</i>		160	400	800		240	660	300		1,500	1,060	2,560
11	<i>Ceratium kofoidii</i>			100						40		140	140
12	<i>Ceratium tripos</i>				220	80		140			220	220	440
13	<i>Protoperidinium bipes</i>		800	360	520	160	1,300	100	400	620	3,020	1,240	4,260
14	<i>Protoperidinium depressum</i>					40				10		50	50
15	<i>Protoperidinium pellucidum</i>								160		160	160	160
16	<i>Protoperidinium</i> spp.			100		400						500	500
17	<i>Detonula pumila</i>		300	880	280	1,600	480	1,000	1,220	800	2,280	4,280	6,560
18	<i>Skeletonema costatum</i>		54,400	39,600	72,000	131,200	43,200	104,400	46,800	32,400	216,400	307,600	524,000
19	<i>Thalassiosira rotula</i>		3,600	2,000	1,600		2,000	800	3,200		10,400	2,800	13,200
20	<i>Thalassiosira</i> spp.		2,400			800					2,400	800	3,200
21	<i>Leptocylindrus danicus</i>			2,400				2,400		1,600		6,400	6,400
22	<i>Coscinodiscus wailiesii</i>		20		10	20		20			30	40	70
23	<i>Coscinodiscus</i> spp.		4,000	6,800	4,400	3,080	2,800	4,140	4,000	5,200	15,200	19,220	34,420
24	<i>Actinopterychus senarius</i>			100		60	60	200			60	360	420
25	<i>Guinardia flaccida</i>				400	180				820	240	1,220	1,640
26	<i>Rhizosolenia fragilissima</i>		6,400	10,400	2,800	14,400	5,600	8,000	3,600	4,400	18,400	37,200	55,600
27	<i>Rhizosolenia setigera</i>		100	320	400	720	280	60	540	160	1,320	1,260	2,580
28	<i>Rhizosolenia stolterfothii</i>		120						80		200	200	200
29	<i>Eucampia zodiacus</i>		6,120	2,900	4,560	6,880	3,300	8,400	2,340	4,200	16,320	22,380	38,700
30	<i>Chaetoceros affine</i>		1,600		2,000		800		3,200	1,600	7,600	1,600	9,200
31	<i>Chaetoceros danicum</i>						40				40		40
32	<i>Chaetoceros debile</i>		7,200	10,800	14,400	6,400	8,800	20,000	6,000	4,800	36,400	42,000	78,400
33	<i>Chaetoceros</i> spp.					140				800		800	140
34	<i>Thalassionema nitzschioides</i>		2,000	2,800			1,600			2,800	3,600	5,600	9,200
35	<i>Thalassiothrix frauenfeldii</i>				2,400				4,400	2,000	6,800	2,000	8,800
36	<i>Pleurosigma</i> spp.		60	140	260	180	60	200	200	460	580	980	1,560
37	<i>Nitzschia longissima</i>						100				100		100
38	<i>Nitzschia pungens</i>							3,600		1,200		4,800	4,800
39	<i>Nitzschia</i> spp.		115,200	154,800	163,400	216,000	111,600	97,200	93,600	82,800	483,800	550,800	1,034,600
40	EUGLENOPHYCEAE				800		240	800			1,040	800	1,840
41	PRASINOPHYCEAE		14,400	21,600	43,200	25,200	10,800	28,800	9,600	18,000	78,000	93,600	171,600
	種類数		24	24	25	27	25	26	24	25	34	37	41
	合計		221,170	261,340	320,530	416,090	196,520	287,120	185,240	165,750	923,460	1,130,300	2,053,760

注：1. 細胞数の単位は 1L あたりの数値で示す。
 2. 調査点合計の細胞数の単位は上層・下層は 4L あたり、全層は 8L あたりで示す。

【上層】



【下層】

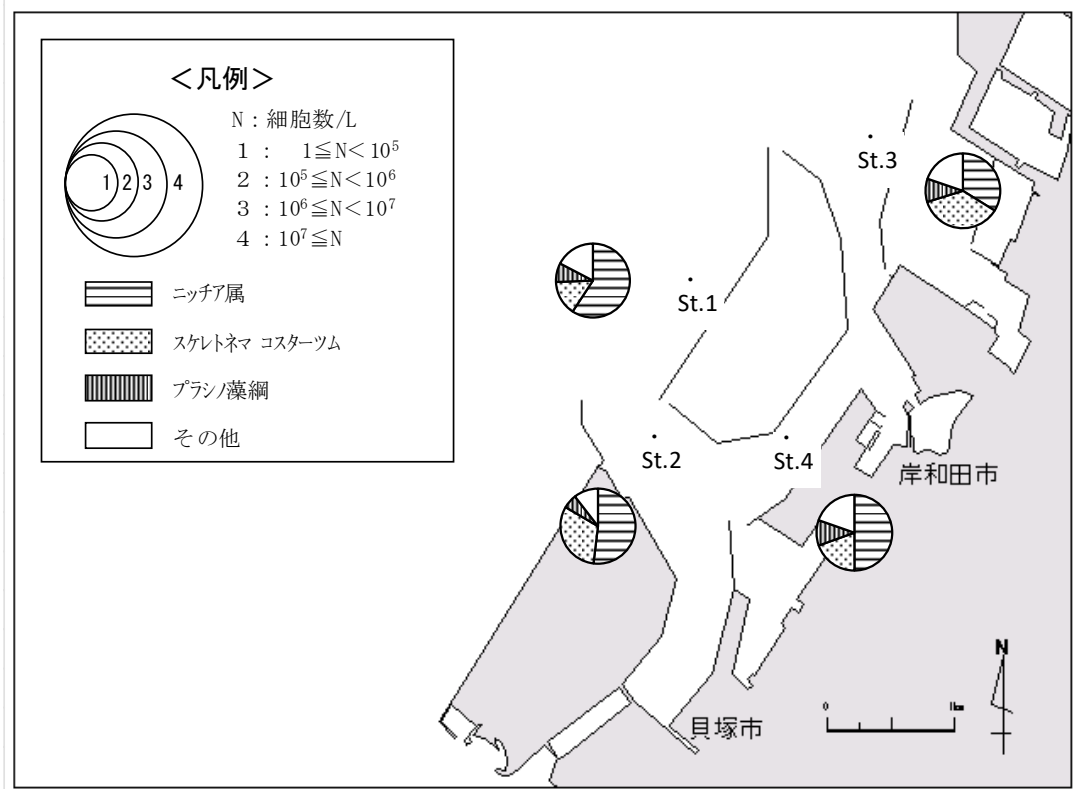


図 4-3-1 植物プランクトンの水平分布 [令和6年度冬季分]

表 4－3－2－1 動物プランクトン調査結果概要 [令和 6 年度冬季分]

調査年月日：令和 7 年 2 月 20 日

項目 \ 調査点	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	平均 (最小 ～ 最大)
種 類 数	20	20	19	23	27 (19 ～ 23)
個 体 数	23, 478	33, 400	38, 335	38, 661	33, 469 (23, 478 ～ 38, 661)
沈 殿 量 (mL)	6. 1	5. 0	6. 2	5. 1	5. 6 (5. 0 ～ 6. 2)
主 要 種 個 体 数 (カッコ内は組成比：%)	カイアシ目のノープリウス幼生 11, 522 (49. 1) ナトマンエホシシシノコ 3, 587 (15. 3)	カイアシ目のノープリウス幼生 11, 900 (35. 6) ナトマンエホシシシノコ 8, 000 (24. 0) ヒンガタカラムシ 4, 400 (13. 2)	ナトマンエホシシシノコ 17, 167 (44. 8) カイアシ目のノープリウス幼生 11, 833 (30. 9)	カイアシ目のノープリウス幼生 13, 049 (33. 8) ナトマンエホシシシノコ 7, 805 (20. 2) オオウミオオメシシノコ 5, 854 (15. 1)	カイアシ目のノープリウス幼生 12, 076 (36. 1) ナトマンエホシシシノコ 9, 140 (27. 3)

注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。
2. 主要種は各調査点での上位 5 種(ただし組成比 10%以上のもの)を示す。
3. 個体数、沈殿量は 1m³あたりの数値で示す。

表4-3-2-2 動物プランクトン出現種一覧 [令和6年度冬季分]

調査年月日：令和7年2月20日

番号	門	綱	目	科	学名	和名
1	絨毛虫	多膜	少毛	ファウ ^エ ラ	<i>Favella taraikaensis</i>	ヒンカ ^タ ラムシ
2	腔腸動物	ヒト ^ロ 虫	ヒト ^ロ 虫	シミコクラケ ^テ	<i>Rathkea octopunctata</i>	シミコクラケ ^テ
3				—	Hydroida	ヒト ^ロ 虫目
4	線形動物	線虫	—	—	NEMATODA	線虫綱
5	軟体動物	マキカ ^イ	—	—	veliger of GASTROPODA	マキカ ^イ 綱のウ ^シ ェリシ ^ヤ ー幼生
6		ニマイカ ^イ	—	—	umbo Larva of BIVALVIA	ニマイカ ^イ 綱の殻頂期幼生
7	節足動物	甲殻	ミシ ^ン コ	オオメシ ^ン コ	<i>Evadne nordmanni</i>	ノルト ^{マン} エホ ^シ ミシ ^ン コ
8					<i>Podon leuckarti</i>	オオウミオオメシ ^ン コ
9					<i>Podon polyphemoides</i>	コウミオオメシ ^ン コ
10			カイ ^ア シ	カラヌス	<i>Calanus sinicus</i>	カラヌス シニクス
11					<i>Calanus</i> sp.	カラヌス属
12				パ ^ラ カラヌス	<i>Paracalanus parvus</i>	パ ^ラ カラヌス ハ ^ル フ ^ス
13					<i>Paracalanus</i> sp.	パ ^ラ カラヌス属
14				セントロバ ^シ ェス	<i>Centropages abdominalis</i>	セントロバ ^シ ェス アブ ^ト ミナリス
15					<i>Centropages</i> sp.	セントロバ ^シ ェス属
16				アカルティ ^ア	<i>Acartia omorii</i>	アカルティ ^ア オモリイ
17					<i>Acartia</i> sp.	アカルティ ^ア 属
18				オイトナ	<i>Oithona similis</i>	オイトナ シミリス
19					<i>Oithona</i> sp.	オイトナ属
20				クラウス	<i>Hemicyclops</i> sp.	ヘミキクロフ ^ス 属
21				コリケウス	<i>Corycaeus</i> sp.	コリケウス属
22				オンケ ^ア	<i>Oncaea</i> sp.	オンケ ^ア 属
23				エタセティ ^ノ ソマ	<i>Microsetella norvegica</i>	ミクロセテ ^ラ ノルウ ^ゲ エキ ^カ
24				—	nauplius of COPEPODA	カイ ^ア シ目のノ ^ー プ ^リ ウス幼生
25			フシ ^ツ ホ ^ス	—	nauplius of CIRRIPIEDIA	フシ ^ツ ホ ^ス 垂目のノ ^ー プ ^リ ウス幼生
26	原索動物	オタマホ ^ヤ	オタマホ ^ヤ	オイコフ ^レ ウ ^ラ	<i>Oikopleura dioica</i>	リカレオタマホ ^ヤ
27					<i>Oikopleura</i> sp.	オイコフ ^レ ウ ^ラ 属

表4-3-2-3 動物プランクトン調査結果(個体数) [令和6年度冬季分]

調査年月日：令和7年2月20日

番号	学名	調査点	St.1	St.2	St.3	St.4	合計
1	<i>Favella taraikaensis</i>		1,196	4,400	1,667	3,537	10,800
2	<i>Rathkea octopunctata</i>			700	167	244	1,111
3	Hydroida					122	122
4	NEMATODA					366	366
5	veliger of GASTROPODA		435	600		610	1,645
6	umbo Larva of BIVALVIA		435	400	500	244	1,579
7	<i>Evadne nordmanni</i>		3,587	8,000	17,167	7,805	36,559
8	<i>Podon leuckarti</i>		326	1,900	333	5,854	8,413
9	<i>Podon polyphemoides</i>			100		122	222
10	<i>Calanus sinicus</i>				167		167
11	<i>Calanus</i> sp.		435		333	122	890
12	<i>Paracalanus parvus</i>		652	100		366	1,118
13	<i>Paracalanus</i> sp.		326	800	667	732	2,525
14	<i>Centropages abdominalis</i>		109	100			209
15	<i>Centropages</i> sp.		326	600	1,000	610	2,536
16	<i>Acartia omorii</i>		217	100	167	122	606
17	<i>Acartia</i> sp.		978	2,100	1,500	1,829	6,407
18	<i>Oithona similis</i>		217		167		384
19	<i>Oithona</i> sp.		761	200	500	1,585	3,046
20	<i>Hemicyclops</i> sp.					122	122
21	<i>Corycaeus</i> sp.		109	300		122	531
22	<i>Oncaea</i> sp.		217	300	333	244	1,094
23	<i>Microsetella norvegica</i>		870	400	333	610	2,213
24	nauplius of COPEPODA		11,522	11,900	11,833	13,049	48,304
25	nauplius of CIRRIPIEDIA		217	200	167		584
26	<i>Oikopleura dioica</i>		543	200	667	122	1,532
27	<i>Oikopleura</i> sp.				667	122	789
種類数			20	20	19	23	27
合計			23,478	33,400	38,335	38,661	133,874
参考	<i>Noctiluca scintillans</i>		65,000	116,200	99,833	52,439	333,472

注：個体数は1m³あたりの数値で示す。ただし、調査点合計は4m³あたりで示す。

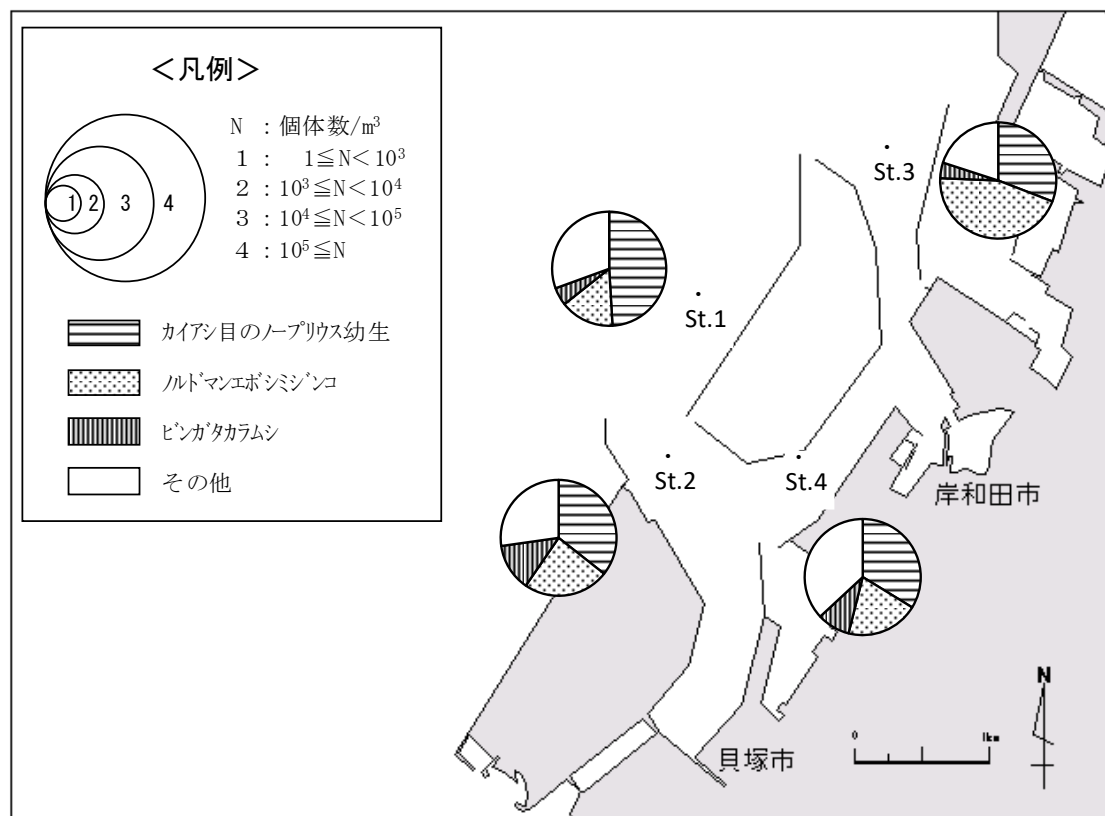


図 4-3-2 動物プランクトンの水平分布 [令和 6 年度冬季分]

表 4－3－3－1 底生生物調査結果概要 [令和 6 年度冬季分]

項目 \ 調査点		調査年月日：令和 7 年 2 月 12 日				
		St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	平均 (最小 ～ 最大)
種類数	軟体動物門	3	1	16	2	17 (1 ～ 16)
	環形動物門	8	4	29	4	31 (4 ～ 29)
	節足動物門	1		7		7 (0 ～ 7)
	そ の 他	1	1	7		7 (0 ～ 7)
	合 計	13	6	59	6	62 (6 ～ 59)
個体数	軟体動物門	9	12	273	17	78 (9 ～ 273)
	環形動物門	184	25	458	6	168 (6 ～ 458)
	節足動物門	1		43		11 (0 ～ 43)
	そ の 他	2	1	60		16 (0 ～ 60)
	合 計	196	38	834	23	273 (23 ～ 834)
組成比 数 (%)	軟体動物門	4. 6	31. 6	32. 7	73. 9	28. 5 (4. 6 ～ 73. 9)
	環形動物門	93. 9	65. 8	54. 9	26. 1	61. 7 (26. 1 ～ 93. 9)
	節足動物門	0. 5		5. 2		4. 0 (0. 0 ～ 5. 2)
	そ の 他	1. 0	2. 6	7. 2		5. 8 (0. 0 ～ 7. 2)
湿重量 (g)	軟体動物門	0. 11	0. 32	8. 08	0. 20	2. 18 (0. 11 ～ 8. 08)
	環形動物門	2. 47	0. 22	2. 96	0. 06	1. 43 (0. 06 ～ 2. 96)
	節足動物門	0. 09		0. 20		0. 07 (0. 00 ～ 0. 20)
	そ の 他	0. 01	0. 71	1. 38		0. 53 (0. 00 ～ 1. 38)
	合 計	2. 68	1. 25	12. 62	0. 26	4. 20 (0. 26 ～ 12. 62)
主要種 個体数 (カッコ内は組成比：%)		ハ ^ラ ブ ^リ オノスピ ^オ 属 (A型) 171 (87. 2)	ハ ^ラ ブ ^リ オノスピ ^オ 属 (A型) 18 (47. 4) シス ^ク カ ^イ 12 (31. 6) エウコネ属 4 (10. 5)	ホトキ ^ス 240 (28. 8) ブ ^セ ウト ^ホ リト ^ラ 属 227 (27. 2)	シス ^ク カ ^イ 15 (65. 2) ハ ^ラ ブ ^リ オノスピ ^オ 属 (A型) 3 (13. 0)	ホトキ ^ス 61 (22. 2) ブ ^セ ウト ^ホ リト ^ラ 属 57 (20. 8) ハ ^ラ ブ ^リ オノスピ ^オ 属 (A型) 55 (20. 1)

注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。
 2. 主要種は各調査点での上位 5 種(ただし組成比 10%以上のもの)を示す。
 3. 個体数及び湿重量(g)は 0. 1m²あたりの数値で示す。

表 4－3－3－2 底生生物出現種一覧 [令和 6 年度冬季分]

調査期日：令和 7 年 2 月 12 日						
番号	門	綱	目	科	学名	和名
1	刺胞動物	花虫	ウミエラ	ウミサホテン	<i>Cavernularia obesa</i>	ウミサホテン
2			イソキレンチャク	—	ACTINIARIA	イソキレンチャク目
3	紐形動物	—	—	—	NEMERTINEA	紐形動物門
4	軟体動物	マキガイ	ニナ	カリハカサ	<i>Crepidula onyx</i>	シマメノウアネガイ
5			ハイ	コロモガイ	<i>Scalptia scalariformis</i>	オリエホラ
6			イトカケガイ	ナリメクルマ	<i>Torinista enoshimensis</i>	ナリメクルマ
7			クチキレガイ	トウカクガイ	<i>Turbonilla</i> sp.	イトカケリ属
8			フットウガイ	オオコメツブガイ	<i>Cylichnatys angusta</i>	カミスシカイコガイタマシ
9				キセリタ	<i>Philine argentata</i>	キセリタ
10		ニマイガイ	フネガイ	フネガイ	<i>Scapharca subcrenata</i>	サルボウ
11			イカ	イカ	<i>Modiolus elongatus</i>	ウキカラス
12					<i>Modiolus</i> sp.	ヒバカリガイ属
13					<i>Musculus senhousia</i>	ホトキス
14		ハマクサリ	ササカ	ササカ	<i>Fulvia mutica</i>	トリガイ
15			バカ	バカ	<i>Raetellops pulchella</i>	チヨノハナガイ
16			ニッコウガイ		Tellinidae	ニッコウガイ科
17			アサシ	アサシ	<i>Theora fragilis</i>	シズクガイ
18			カワホトキス		<i>Alvenius ojanus</i>	ケストリガイ
19			マルスタレガイ		<i>Veremolpa micra</i>	ヒメカノコサリ
20					<i>Dosinorbis japonicus</i>	カカミガイ
21	環形動物	コカイ	サシハコカイ	ウロコムシ	<i>Harmothoe</i> sp.	
22				ナリウロコムシ	<i>Sthenelais mitsuii</i>	
23			サシハコカイ		<i>Anaitides</i> sp.	
24					<i>Phyllodoce</i> sp.	
25					<i>Eumida sanguinea</i>	マダラサシハ
26			カキコカイ		<i>Sigambra</i> sp.	
27			コカイ		<i>Nectoneanthes latipoda</i>	
28					<i>Nereis</i> sp.	
29			シロカネコカイ		<i>Nephtys oligobranchia</i>	コノハシロカネコカイ
30			Lacydoniidae		<i>Paralacydonia paradoxa</i>	
31			チロリ		<i>Glycera chirori</i>	チロリ
32			ニカイチロリ		<i>Glycinde</i> sp.	
33		イワメ	キホシイワメ		<i>Scoletoma longifolia</i>	カタマカリキホシイワメ
34			ナリイワメ		<i>Schistomeringos</i> sp.	
35		スビオ	スビオ		<i>Dipolydora</i> sp.	
36					<i>Polydora</i> sp.	
37					<i>Pseudopolydora</i> sp.	フセウトホリトラ属
38					<i>Spiophanes kroeyeri</i>	ススエラナシスビオ
39					<i>Aonides oxycephala</i>	ケンサキスビオ
40					<i>Scoletepis</i> sp.	
41					<i>Prionospio sexoculata</i>	フタエラスビオ
42					<i>Prionospio krusadensis</i>	ミツハネスビオ
43					<i>Paraprionospio</i> sp. (A型)	ハラブリオノスビオ属 (A型)
44					<i>Paraprionospio</i> sp. (B型)	
45			ミスヒキコカイ		<i>Cirriformia tentaculata</i>	ミスヒキコカイ
46		イトコカイ	イトコカイ		<i>Mediomastus</i> sp.	
47		チマキコカイ	チマキコカイ		<i>Owenia fusiformis</i>	チマキコカイ
48		フサコカイ	ウミイサコムシ		<i>Lagis bocki</i>	ウミイサコムシ
49			フサコカイ		<i>Lanice</i> sp.	
50		ケヤリ	ケヤリ		<i>Euchone</i> sp.	
51					<i>Chone</i> sp.	
52	節足動物	甲殻	ヨコエビ	ユンボソコエビ	<i>Grandidierella</i> sp.	トソコエビ属
53				トロクダムシ	<i>Monocorophium acherusicum</i>	アリアケトロクダムシ
54			エビ	ロウソクエビ	<i>Processa</i> sp.	ロウソクエビ属
55				イチョウカニ	<i>Cancer gibbosulus</i>	イボイチョウカニ
56				ワタリカニ	<i>Charybdis bimaculata</i>	フタホシイシカニ
57				カクレカニ	<i>Pinnixa rathbuni</i>	ラスハンマカニ
58			—	—	<i>Megalopa of Brachyura</i>	カニ類メカニ 期幼生
59	触手動物	ホウキムシ	ホウキムシ	ホウキムシ	<i>Phoronis</i> sp.	
60		腕足	シャミセンガイ	シャミセンガイ	<i>Lingula</i> sp.	シャミセンガイ属
61	原索動物	ホヤ	マホヤ	スチエラ	Styelidae	スチエラ科
62				ブクロホヤ	<i>Eugyra glutinans</i>	カンテンホヤ

表 4-3-3-3 底生生物調査結果(個体数) [令和 6 年度冬季分]

調査期日：令和 7 年 2 月 12 日							
番号	学名	調査点	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	合計
1	<i>Cavernularia obesa</i>				1		1
2	ACTINIARIA		2		32		34
3	NEMERTINEA			1	1		2
4	<i>Crepidula onyx</i>				1		1
5	<i>Scalptia scalariformis</i>				1		1
6	<i>Torinista enoshimensis</i>				1		1
7	<i>Turbonilla</i> sp.				4		4
8	<i>Cylichnatys angusta</i>				2		2
9	<i>Philine argentata</i>				1		1
10	<i>Scapharca subcrenata</i>				1		1
11	<i>Modiolus elongatus</i>		1				1
12	<i>Modiolus</i> sp.				4		4
13	<i>Musculus senhousia</i>				240	2	242
14	<i>Fulvia mutica</i>				1		1
15	<i>Raetellops pulchella</i>		1		2		3
16	Tellinidae				1		1
17	<i>Theora fragilis</i>		7	12	10	15	44
18	<i>Alvenius ojanus</i>				1		1
19	<i>Veremolpa micra</i>				2		2
20	<i>Dosinorbis japonicus</i>				1		1
21	<i>Harmothoe</i> sp.				3	1	4
22	<i>Sthenelais mitsuui</i>		3		1	1	5
23	<i>Anaitides</i> sp.		1				1
24	<i>Phyllodoce</i> sp.				7		7
25	<i>Eumida sanguinea</i>				1		1
26	<i>Sigambra</i> sp.		1				1
27	<i>Nectoneanthes latipoda</i>		2		6		8
28	<i>Nereis</i> sp.				2		2
29	<i>Nephtys oligobranchia</i>		1	1	11	1	14
30	<i>Paralacydonia paradoxa</i>				1		1
31	<i>Glycera chirori</i>				3		3
32	<i>Glycinde</i> sp.			2	5		7
33	<i>Scoletoma longifolia</i>		1		17		18
34	<i>Schistomeringos</i> sp.				2		2
35	<i>Dipolydora</i> sp.				13		13
36	<i>Polydora</i> sp.				10		10
37	<i>Pseudopolydora</i> sp.				227		227
38	<i>Spiophanes kroeyeri</i>				1		1
39	<i>Aonides oxycephala</i>				21		21
40	<i>Scolelepis</i> sp.				2		2
41	<i>Prionospio sexoculata</i>				1		1
42	<i>Prionospio krusadensis</i>				7		7
43	<i>Paraprionospio</i> sp. (A型)		171	18	27	3	219
44	<i>Paraprionospio</i> sp. (B型)				1		1
45	<i>Cirriformia tentaculata</i>				15		15
46	<i>Mediomastus</i> sp.				2		2
47	<i>Owenia fusiformis</i>				1		1
48	<i>Lagis bocki</i>				3		3
49	<i>Lanice</i> sp.				1		1
50	<i>Euchone</i> sp.		4	4	2		10
51	<i>Chone</i> sp.				65		65
52	<i>Grandidierella</i> sp.				2		2
53	<i>Monocorophium acherusicum</i>				23		23
54	<i>Processa</i> sp.				1		1
55	<i>Cancer gibbosulus</i>				9		9
56	<i>Charybdis bimaculata</i>		1		1		2
57	<i>Pinnixa rathbuni</i>				4		4
58	<i>Megalopa</i> of <i>Brachyura</i>				3		3
59	<i>Phoronis</i> sp.				14		14
60	<i>Lingula</i> sp.				10		10
61	Styelidae				1		1
62	<i>Eugyra glutinans</i>				1		1
種類数			13	6	59	6	62
合 計			196	38	834	23	1,091

注：個体数の数値は 0.1m²あたりの数値で示す。ただし、調査点合計の欄は 0.4m²あたりで示す。

表 4-3-3-4 底生生物調査結果(湿重量) [令和 6 年度冬季分]

調査期日：令和 7年 2月12日							
番号	学名	調査点	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	合計
1	<i>Cavernularia obesa</i>				0.13		0.13
2	ACTINIARIA		0.01		1.11		1.12
3	NEMERTINEA			0.71	0.01		0.72
4	<i>Crepidula onyx</i>				+		+
5	<i>Scalptia scalariformis</i>				0.46		0.46
6	<i>Torinista enoshimensis</i>				0.11		0.11
7	<i>Turbonilla</i> sp.				0.04		0.04
8	<i>Cylichnatys angusta</i>				0.01		0.01
9	<i>Philine argentata</i>				0.21		0.21
10	<i>Scapharca subcrenata</i>				4.69		4.69
11	<i>Modiolus elongatus</i>		+				+
12	<i>Modiolus</i> sp.				0.06		0.06
13	<i>Musculus senhousia</i>				2.25	0.02	2.27
14	<i>Fulvia mutica</i>				0.17		0.17
15	<i>Raetellops pulchella</i>		0.01		0.02		0.03
16	Tellinidae				+		+
17	<i>Theora fragilis</i>		0.10	0.32	0.03	0.18	0.63
18	<i>Alvenius ojanus</i>				+		+
19	<i>Veremolpa micra</i>				0.02		0.02
20	<i>Dosinorbis japonicus</i>				0.01		0.01
21	<i>Harmothoe</i> sp.				0.05	0.03	0.08
22	<i>Sthenelais mitsuui</i>		0.06		+	0.02	0.08
23	<i>Anaitides</i> sp.		+				+
24	<i>Phyllodoce</i> sp.				0.02		0.02
25	<i>Eumida sanguinea</i>				+		+
26	<i>Sigambra</i> sp.		+				+
27	<i>Nectoneanthes latipoda</i>		0.26		0.19		0.45
28	<i>Nereis</i> sp.				0.01		0.01
29	<i>Nephtys oligobranchia</i>		+	+	0.03	+	0.03
30	<i>Paralacydonia paradoxa</i>				+		+
31	<i>Glycera chirori</i>				0.20		0.20
32	<i>Glycinde</i> sp.			0.02	0.02		0.04
33	<i>Scoletoma longifolia</i>		0.01		0.15		0.16
34	<i>Schistomeringos</i> sp.				+		+
35	<i>Dipolydora</i> sp.				0.08		0.08
36	<i>Polydora</i> sp.				0.05		0.05
37	<i>Pseudopolydora</i> sp.				0.53		0.53
38	<i>Spiophanes kroeyeri</i>				+		+
39	<i>Aonides oxycephala</i>				0.04		0.04
40	<i>Scolecopsis</i> sp.				0.01		0.01
41	<i>Prionospio sexoculata</i>				+		+
42	<i>Prionospio krusadensis</i>				0.01		0.01
43	<i>Paraprionospio</i> sp. (A型)		2.13	0.19	0.19	0.01	2.52
44	<i>Paraprionospio</i> sp. (B型)				+		+
45	<i>Cirriformia tentaculata</i>				0.95		0.95
46	<i>Mediomastus</i> sp.				0.01		0.01
47	<i>Owenia fusiformis</i>				0.02		0.02
48	<i>Lagis bocki</i>				0.03		0.03
49	<i>Lanice</i> sp.				0.03		0.03
50	<i>Euchone</i> sp.		0.01	0.01	0.01		0.03
51	<i>Chone</i> sp.				0.33		0.33
52	<i>Grandidierella</i> sp.				0.01		0.01
53	<i>Monocorophium acherusicum</i>				0.05		0.05
54	<i>Processa</i> sp.				0.03		0.03
55	<i>Cancer gibbosulus</i>				0.09		0.09
56	<i>Charybdis bimaculata</i>		0.09		+		0.09
57	<i>Pinnixa rathbuni</i>				0.01		0.01
58	<i>Megalopa</i> of <i>Brachyura</i>				0.01		0.01
59	<i>Phoronis</i> sp.				0.05		0.05
60	<i>Lingula</i> sp.				0.04		0.04
61	Styelidae				0.03		0.03
62	<i>Eugyra glutinans</i>				0.01		0.01
種類数			13	6	59	6	62
合 計			2.68	1.25	12.62	0.26	16.81

注：1. 「+」は 0.01g 未満を示す。

2. 湿重量(g)は 0.1m²あたりの数値で示す。ただし、調査点合計の欄は 0.4m²あたりで示す。

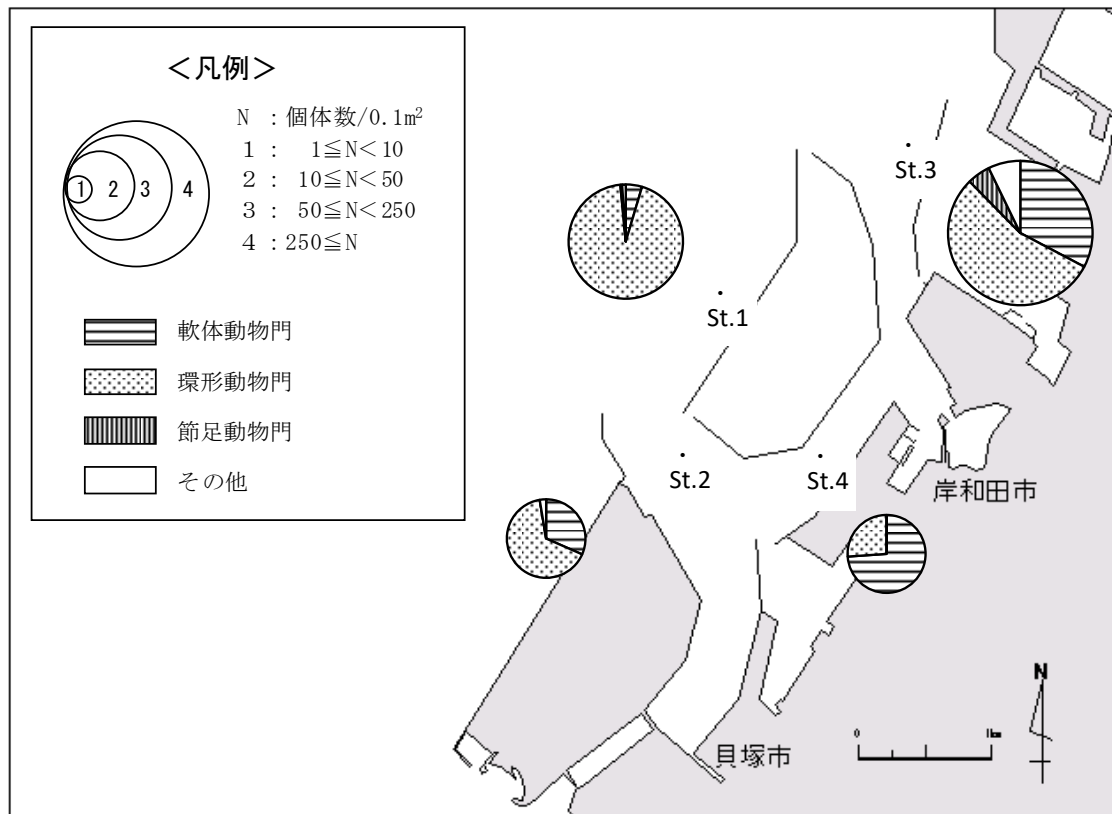


図 4 - 3 - 3 底生生物の水平分布 [令和 6 年度冬季分]

表 4－3－4－1 魚卵調査結果概要 [令和 6 年度冬季分]

調査年月日:令和 7年 2月12日

項目 \ 調査点	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	平均 (最小 ～ 最大)
種 類 数	0	0	0	0	0 (0 ～ 0)
個 数	0	0	0	0	0 (0 ～ 0)
主 要 種 個 数 (カッコ内は組成比：%)	出現種なし				

注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。
2. 主要種は各調査点での上位 5 種(ただし組成比 10%以上のもの)を示す。
3. 個数は 1, 000m³ あたりの数値で示す。

表 4－3－4－2 魚卵出現種一覧 [令和 6 年度冬季分]

調査年月日:令和 7年 2月12日

番号	門	綱	目	科	学名	和名
(該当種なし)						

表 4－3－4－3 魚卵調査結果 (個数) [令和 6 年度冬季分]

調査年月日:令和 7年 2月12日

番号	学名	和名	調査点	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	合計
(該当種なし)								
種類数				0	0	0	0	0
合計				0	0	0	0	0

注：個数は 1,000m³ あたりの数値で示す。ただし調査点合計の欄は 4,000m³ あたりで示す。

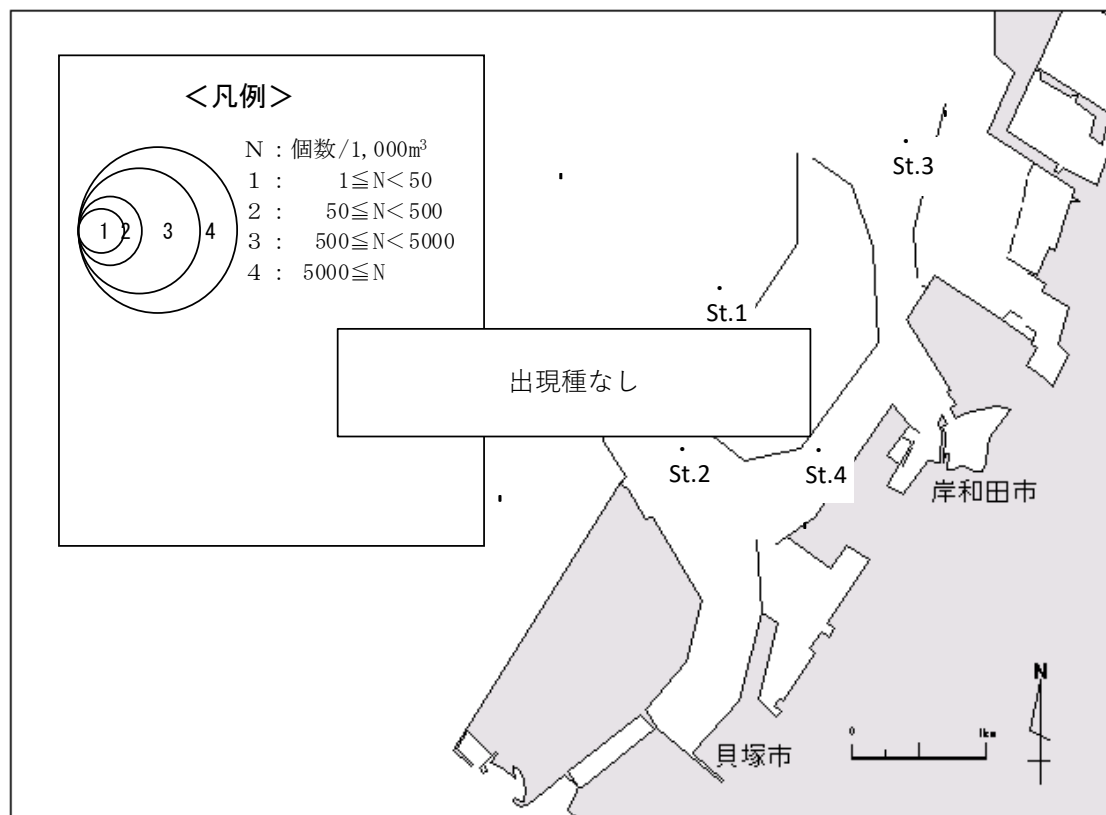


図 4 - 3 - 4 - 1 魚卵の水平分布 [令和 6 年度冬季分]

表 4－3－4－4 稚仔魚調査結果概要 [令和 6 年度冬季分]

調査年月日：令和 7 年 2 月 12 日

項目 \ 調査点	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	平均 (最小 ～ 最大)
種 類 数	1	4	3	3	6 (1 ～ 4)
個 体 数	53	159	169	169	138 (53 ～ 169)
主 要 種 個 体 数 (カッコ内は組成比：%)	カサコ [°] 53 (100.0)	カサコ [°] 149 (93.7)	カサコ [°] 163 (96.4)	カサコ [°] 142 (84.0) アサメ属 24 (14.2)	カサコ [°] 127 (92.2)

注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。
 2. 主要種は各調査点での上位 5 種(ただし組成比 10%以上のもの)を示す。
 3. 個体数は 1,000m³ あたりの数値で示す。

表4-3-4-5 稚仔魚出現種一覧 [令和6年度冬季分]

調査年月日:令和 7年 2月12日

番号	門	綱	目	科	学名	和名
1	脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハナ	<i>Pseudolabrus</i> sp.	ササノハナ属
2				スズキ	<i>Lateolabrax japonicus</i>	スズキ
3				ハゼ	Gobiidae	ハゼ科
4			カサゴ	フサカサゴ	<i>Sebastes inermis</i> complex	メバル複合種群
5					<i>Sebastiscus marmoratus</i>	カサゴ
6				アイナメ	<i>Hexagrammos</i> sp.	アイナメ属

注: メバル複合種群にはアカメバル、クロメバル、シロメバルの3種が含まれる。

表4-3-4-6 稚仔魚調査結果(個体数) [令和6年度冬季分]

調査年月日:令和 7年 2月12日

番号	学名	和名	調査点	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	合計
1	<i>Pseudolabrus</i> sp.	ササノハナ属				2		2
2	<i>Lateolabrax japonicus</i>	スズキ					3	3
3	Gobiidae	ハゼ科			2			2
4	<i>Sebastes inermis</i> complex	メバル複合種群			6			6
5	<i>Sebastiscus marmoratus</i>	カサゴ		53	149	163	142	507
6	<i>Hexagrammos</i> sp.	アイナメ属			2	4	24	30
種類数				1	4	3	3	6
合計				53	159	169	169	550

注1: 個体数は1,000m³あたりの数値で示す。ただし調査点合計の欄は4,000m³あたりで示す。

注2: メバル複合種群にはアカメバル、クロメバル、シロメバルの3種が含まれる。

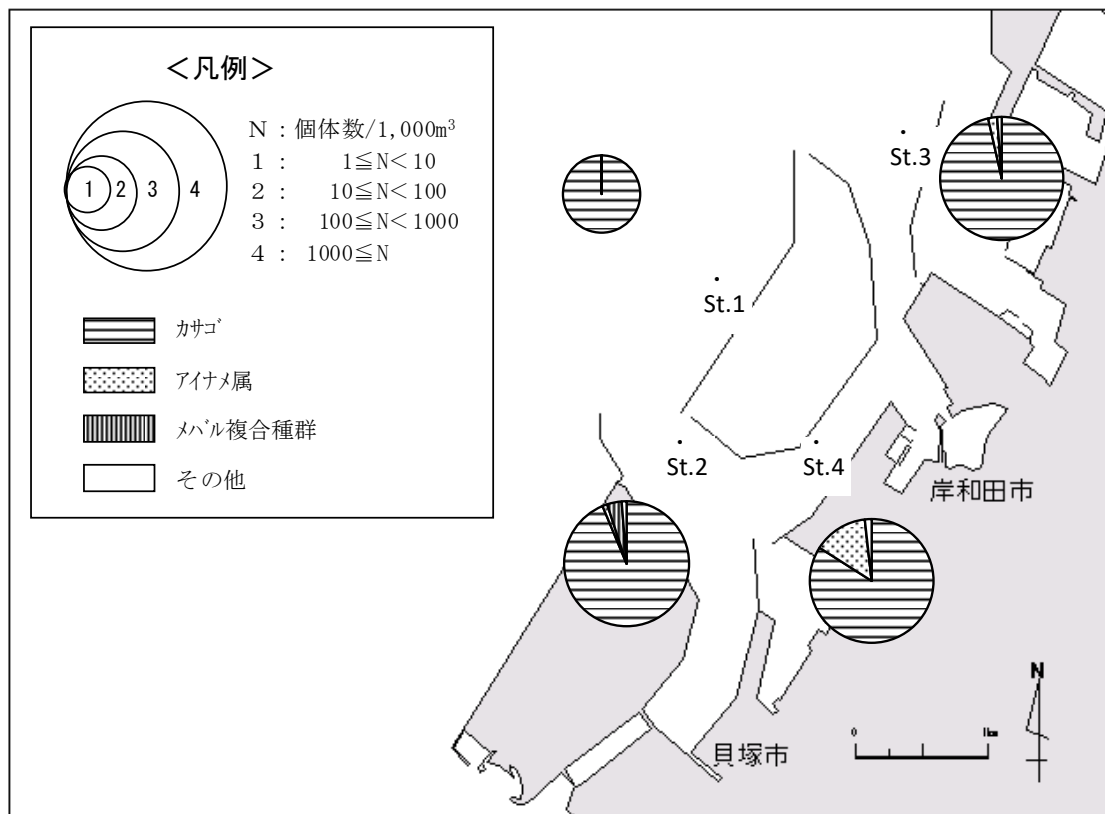


図 4－3－4－2 稚仔魚の水平分布 [令和 6 年度冬季分]

表 4－3－5－1 (1) 付着生物出現種一覧(目視観察)

調 査 日：令和 7年 2月12日

S t . A

調査時刻：9:00～10:40

調査方法：ベルトトランセクト法

観察枠No.		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
基 質		コ ン ク リ ー ト ケ ー ソ ン																	
出現種	水深 (m)	+1.0	0.0	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0	6.0	7.0	8.0								
植 物	1 藍藻綱	+	+																
	2 アマノリ属		10	+															
	3 カヤネリ		+																
	4 シオクサ属			5															
	5 セイウハハノリ			+	+														
	6 ミル				+														
	7 イグニス属									+	+		+						
	8 タキイグニス										+								+
	9 イグニス科													+		+			+
	10 スカケハニ																		+
動 物	1 アフレタマキヒゲカイ	(34)																	
	2 イワナヅツホ	20	+																
	3 タマキヒゲカイ	(2)	(3)																
	4 カラマツカイ	(5)	(4)																
	5 ユキノカサガイ科	(2)	(4)																
	6 マカキ	+	60																
	7 コウエンカリヒバリガイ	+	+	+															
	8 ヨメカサガイ		(2)																
	9 イボコシ		(3)																
	10 タテジマイグニンチャク		(45)																
	11 カンザシコカイ科			15	15	20	10	10	5	5	+	5	+						
	12 群体性カイ類			20	20	20	60	50	70	75	70	60	40	25	50	20	+	+	
	13 コケムシ綱			+	5	5			5	5		5	5			+	5	+	+
	14 イソグニンチャク目				(1)														(1)
	15 シンカクツツホ				5	5	+	+	+	+	+								
	16 アサコケムシ				5	5	15	40	25	20	25	20	25	10	15	5			
	17 シロホヤ					(1)	(2)				(2)	(2)	(3)		(1)				
	18 単体性カイ類					5	+	+	+	+	+		5	+	+		+	+	+
	19 ホソアサコケムシ						+	+	+	+									
	20 ヒメホウキムシ					+	5		+	+	5	15	20	5	5	5			
	21 普通海綿綱											+							
	22 泥巣														5	5	5	+	+
	23 シオカマシコ															+		+	
	24 ヒトリロムシ綱															+	+		+
	25 アミコケムシ科																+	+	
	26 トマキヒトデ																	(1)	
	27 シンジョウウニ																	(2)	(2)

注)1. 数字は被度(%)を表し、+記号は5%以下、r記号は1%未満を示す。

2. ()内の数字は個体数を表す。

表 4 - 3 - 5 - 1 (2) 付着生物出現種一覧(目視観察)

調 査 日 : 令和 7 年 2 月 12 日

S t . B

調査時刻 : 10:55~12:30

調査方法 : ベルトトランセクト法

観察枠No.		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
基 質		被 覆 石																
出現種	水深 (m)	+1.0	0.0	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0	6.0	7.0								
植 物	1 アマリ属		15	+														
	2 フクロノリ			+														
	3 シオクサ属				5	15	20	+	+									
	4 セイヨウハハノリ					5												
	5 ホトタナアサ					60	15											
	6 オキツノリ					20	+											
	7 アスカリカニテ					+			+	+	+							
	8 ショウジョウケノリ					5	30	90	95	75	60	60	25	20	15			
	9 ムカデノリ						+				5							
	10 フクロノリ							5	5		5	+						
	11 ワカメ							10		5		5	5					
	12 アサリ属										+	+						
	13 カハノリ										+	+	+			+		
	14 タシニア属										5			5				
	15 シキンノリ										10	15	5	5	+	+		
	16 イギス科										+			+	5	20	5	+
	17 ウルシラモ													+	+			
動 物	1 カメノテ		+															
	2 ユキノカサガイ科			(3)														
	3 カラマツガイ			(5)	(1)													
	4 マカキ			5	50	+												
	5 キクノハナガイ			(2)	(23)	(4)												
	6 ヤッコカンザシ				5													
	7 イボニシ				(1)													
	8 サンカクフシツボ					+	5	+	+									
	9 カンザシコカイ科					+	5	5	5	+	+	+	+					
	10 ナミカシワガイ						+											
	11 オオヘビガイ						(2)	(1)										
	12 フチコムシ						+				+							
	13 コシタカカンガラ								(1)									
	14 イトマキヒトデ									(1)	(1)							
	15 ヒメボウキムシ									10				+	+	+	+	+
	16 群体性お類										+	+		+			+	
	17 ホンヤドリカ属											(1)						
	18 泥巢												+	+				
	19 ウミウシ類の卵塊																+	

注) 1. 数字は被度(%)を表し、+記号は5%以下、r記号は1%未満を示す。

2. ()内の数字は個体数を表す。

表 4－3－5－2 付着生物(植物)藻長測定結果

調査日：令和 7年 2月12日

出現種\地点	S t . A	S t . B
藍藻綱	10mm	---
ホ ^ン タンアサ	---	20mm～40mm
アサ属	---	50mm～80mm
シオ ^ク サ属	10mm～20mm	20mm～30mm
ミル	40mm	---
フクロノリ	---	70mm～90mm
セイヨウハバ ^ノ ノリ	50mm～70mm	150mm
カヤモノリ	50mm	---
ワカメ	---	250mm～500mm
アマノリ属	30mm～50mm	80mm～150mm
ウスカワカニノテ	40mm～50mm	20mm～25mm
フクロフノリ	---	50mm～70mm
ススカケベ ^ニ	10mm	---
シキシノリ	---	50mm～100mm
ムカデ ^ノ ノリ	---	60mm～80mm
オキツノリ	---	20mm～40mm
ツルシラモ	---	50mm～70mm
カハ ^ノ ノリ	---	50mm～60mm
タオヤキ ^{ソウ}	10mm～70mm	---
イギ ^ス 属	---	50mm～60mm
イギ ^ス 科	40mm	30mm～80mm
ダ ^シ ア属	---	50mm～100mm
ショウジ ^{ョウケ} ノリ	---	100mm～300mm

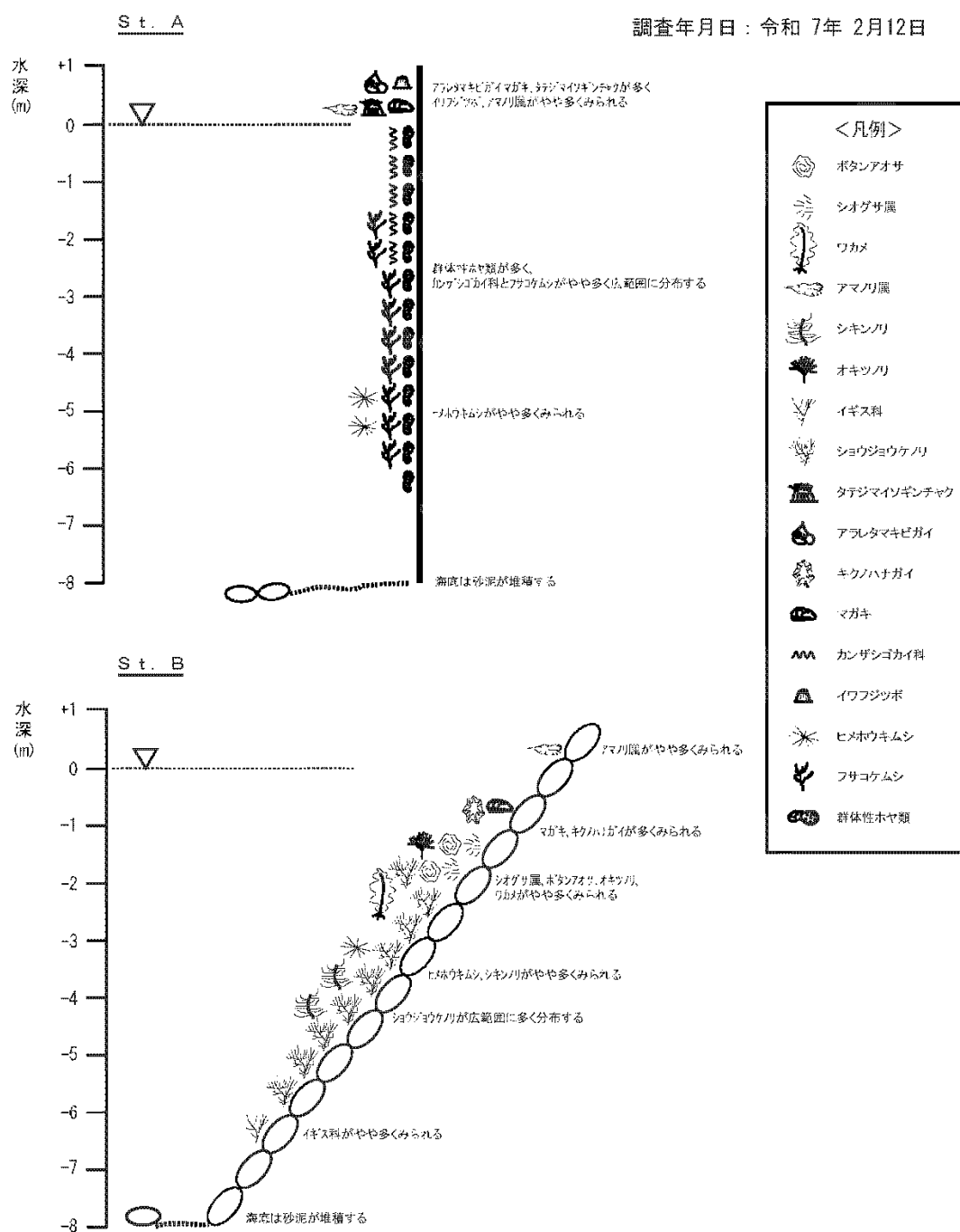


図 4 - 3 - 5 - 1 調査測点断面模式

水深 (m)

【St.A】

調査日: 令和 7年 2月12日

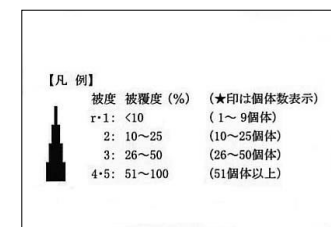
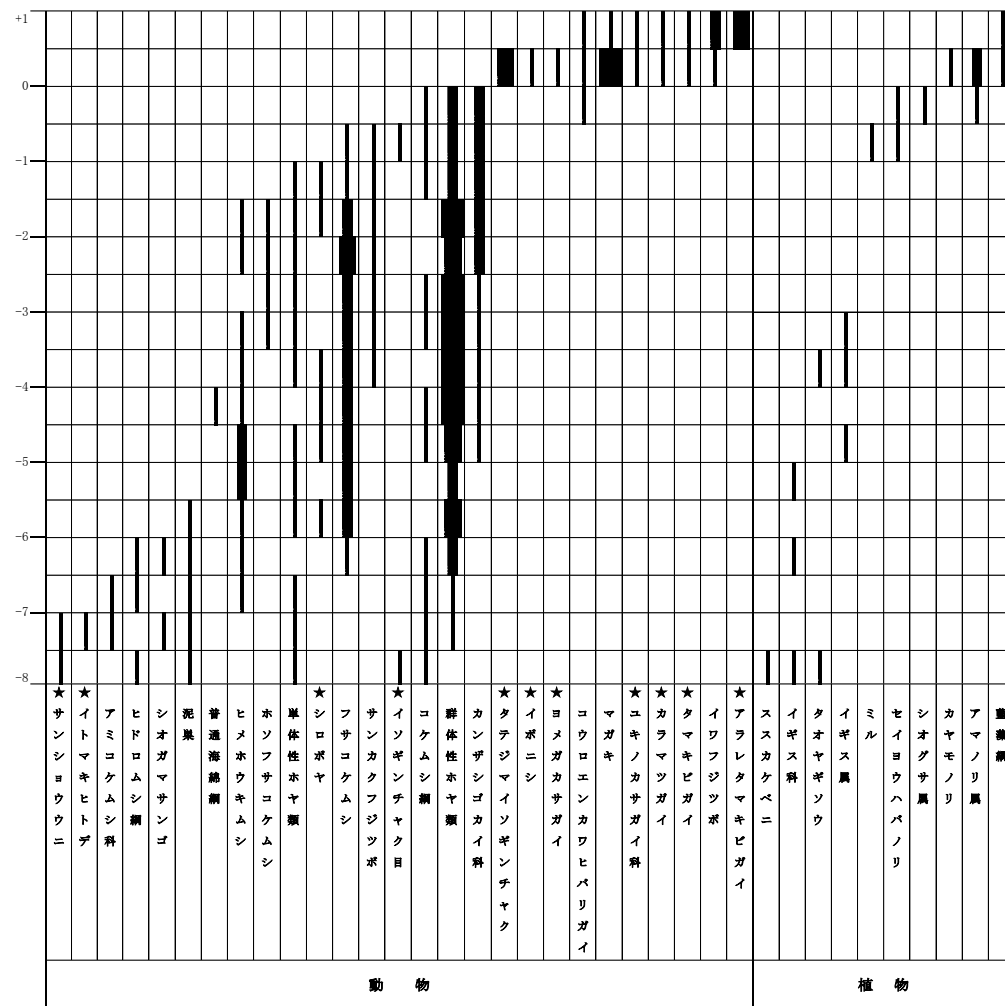


図 4 - 3 - 5 - 2 (1) 主な付着生物の鉛直分布

水深 (m)

【St.B】

調査日: 令和 7年 2月12日

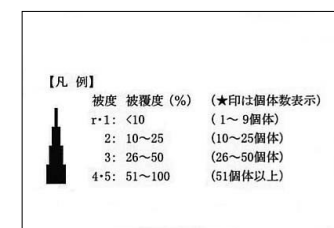
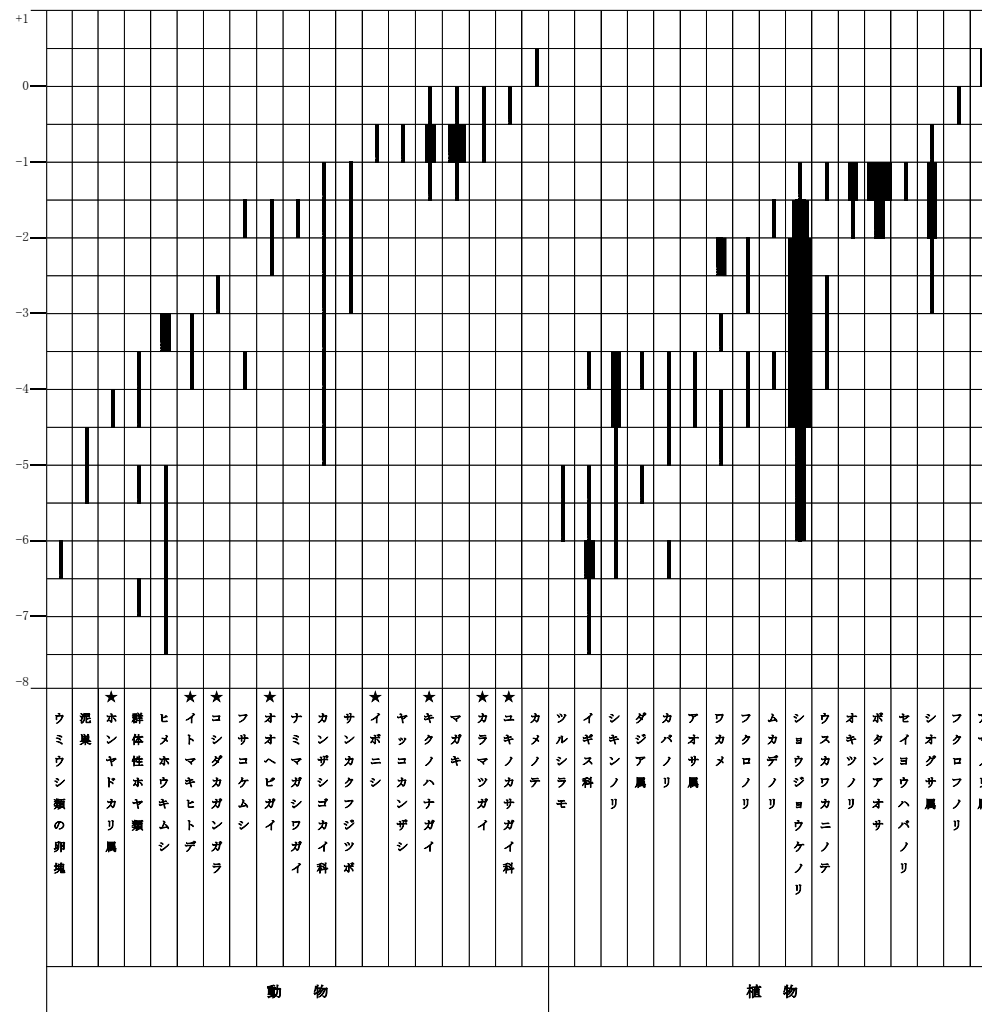


図 4 - 3 - 5 - 2 (2) 主な付着生物の鉛直分布

表4-3-5-3 付着生物調査結果概要(坪刈り：植物) [令和6年度冬季分]

調査年月日：令和 7年 2月12日

項目	調査点 層	St. A			St. B			平均 (最小 ～ 最大)
		上層	中層	下層	上層	中層	下層	
種類数	緑藻植物門	2	3	1	2	4	4	5 (1 ～ 4)
	褐藻植物門	2					2	4 (0 ～ 2)
	紅藻植物門	1	1	1	1	4	10	12 (1 ～ 10)
	そ の 他	1						1 (0 ～ 1)
	合 計	6	4	2	3	8	16	22 (2 ～ 16)
湿重量 (g)	緑藻植物門	0.02	0.22	0.16	+	1.17	0.94	0.42 (+ ～ 1.17)
	褐藻植物門	0.06					26.36	4.40 (0.00 ～ 26.36)
	紅藻植物門	1.77	0.06	0.50	5.57	6.62	34.05	8.10 (0.06 ～ 34.05)
	そ の 他	+						+ (0.00 ～ +)
	合 計	1.85	0.28	0.66	5.57	7.79	61.35	12.92 (0.28 ～ 61.35)
組成重量 (%)	緑藻植物門	1.1	78.6	24.2	+	15.0	1.5	3.3 (+ ～ 78.6)
	褐藻植物門	3.2					43.0	34.1 (0.0 ～ 43.0)
	紅藻植物門	95.7	21.4	75.8	100.0	85.0	55.5	62.7 (21.4 ～ 100.0)
	そ の 他	+						+ (0.0 ～ +)
主要種 湿重量 (カッコ内は組成比：%)		アマリ属 1.77 (95.7)	シオグサ属 0.13 (46.4) ハネモ属 0.09 (32.1) イグス属 0.06 (21.4)	イグス属 0.50 (75.8) シオグサ属 0.16 (24.2)	アマリ属 5.57 (100.0)	シヨウシヨウケリ 6.33 (81.3) ウスハアオリ 0.80 (10.3)	シヨウシヨウケリ 32.37 (52.8) ワカメ 20.06 (32.7) フクロリ 6.30 (10.3)	シヨウシヨウケリ 6.45 (49.9) ワカメ 3.34 (25.9)

注：1. 上層は平均水面、中層は大潮最低低潮面、下層は大潮最低低潮面-1mを示す。

2. 種類数の平均欄の数値は総種類数を示す。

3. 主要種は各調査点の各層で上位5種(ただし組成比10%以上のもの)を示す。ただし、0.01g/0.09m²未満の場合は除く。4. 湿重量は0.09m²あたりの数値で示す。湿重量が0.01g/0.09m²未満の場合、湿重量及び湿重量組成比は「+」で示す。

表 4-3-5-4 付着生物出現種一覧(坪刈り：植物) [令和 6 年度冬季分]

調査年月日：令和 7 年 2 月 12 日						
番号	門	綱	目	科	学名	和名
1	藍藻植物	藍藻	ユレモ	—	Oscillatoriales	ユレモ目
2	緑藻植物	緑藻	アオサ	アオサ	Enteromorpha linza	ウスバアオリ
3					Enteromorpha sp.	アオリ属
4					Ulva sp.	アオサ属
5					Cladophora sp.	シオクサ属
6	褐藻植物	褐藻	ハネモ	ハネモ	Bryopsis sp.	ハネモ属
7					Ectocarpaceae	シオミドロ科
8					Colpomenia sinuosa	フクロノリ
9					Scytosiphon lomentaria	カヤモリ
10	紅藻植物	紅藻	コンブ	チカヅイ	Undaria pinnatifida	ウカメ
11					Porphyra sp.	アマノリ属
12					Amphiroa zonata	ウスカリカエノテ
13					Corallina pilulifera	ヒシリヒバ
14			スキノリ	スキノリ	Chondracanthus teedii	シキンノリ
15					Grateloupia filicina	ムカデノリ
16					Grateloupia turuturu	ツルツル
17					Ahnfeltiopsis flabelliformis	オキツノリ
18			イギス	イギス	Antithamnion densum	キヌイトフタツカサネ
19					Centroceras clavulatum	トケイギス
20					Ceramium sp.	イギス属
21					Herposiphonia parca	クモノスヒメコケ
22					Polysiphonia senticulosa	ショウジョウケノリ

表 4-3-5-5 付着生物調査結果(坪刈り：植物：湿重量) [令和 6 年度冬季分]

調査年月日：令和 7年 2月12日									
番号	学名	調査点 層	St. A			St. B			合計
			上層	中層	下層	上層	中層	下層	
1	<i>Oscillatoriales</i>		+						+
2	<i>Enteromorpha linza</i>					+	0.80	0.66	1.46
3	<i>Enteromorpha</i> sp.		+	+			0.03	+	0.03
4	<i>Ulva</i> sp.					+	0.15	0.02	0.17
5	<i>Cladophora</i> sp.		0.02	0.13	0.16		0.19	0.26	0.76
6	<i>Bryopsis</i> sp.			0.09					0.09
7	Ectocarpaceae		+						+
8	<i>Colpomenia sinuosa</i>							6.30	6.30
9	<i>Scytosiphon lomentaria</i>		0.06						0.06
10	<i>Undaria pinnatifida</i>							20.06	20.06
11	<i>Porphyra</i> sp.		1.77			5.57			7.34
12	<i>Amphiroa zonata</i>							0.92	0.92
13	<i>Corallina pilulifera</i>						0.02	0.08	0.10
14	<i>Chondracanthus teedii</i>							0.05	0.05
15	<i>Grateloupia filicina</i>						0.17	0.15	0.32
16	<i>Grateloupia turuturu</i>							0.04	0.04
17	<i>Ahnfeltiopsis flabelliformis</i>						0.10		0.10
18	<i>Antithamnion densum</i>							0.01	0.01
19	<i>Centroceras clavulatum</i>							0.01	0.01
20	<i>Ceramium</i> sp.			0.06	0.50			0.41	0.97
21	<i>Herposiphonia parca</i>							0.01	0.01
22	<i>Polysiphonia senticulosa</i>						6.33	32.37	38.70
種類数			6	4	2	3	8	16	22
合計			1.85	0.28	0.66	5.57	7.79	61.35	77.50

注：1. 上層は平均水面、中層は大潮最低低潮面、下層は大潮最低低潮面-1m を示す。
2. 「+」は 0.01g 未満を、「-」は計量困難を示す。
3. 湿重量(g)の数値は 0.09m²あたりの数値で示す。ただし、調査点合計の欄は 0.54m²あたりで示す。

表 4－3－5－6 (1) 付着生物調査結果概要(坪刈り：動物：個体数) [令和 6 年度冬季分]

調査年月日：令和 7 年 2 月 12 日

項目 \ 調査点 層		St. A			St. B			平均 (最小 ～ 最大)
		上 層	中 層	下 層	上 層	中 層	下 層	
種類数	軟体動物門	16	12	5	2	12	19	35 (2 ～ 19)
	環形動物門	7	11	12	4	8	9	20 (4 ～ 12)
	節足動物門	6	9	11	1	10	8	23 (1 ～ 11)
	そ の 他	7	12	16		4	12	23 (0 ～ 16)
	合 計	36	44	44	7	34	48	101 (7 ～ 48)
個体数	軟体動物門	823	145	36	2	35	540	264 (2 ～ 823)
	環形動物門	589	525	2,343	8	92	374	655 (8 ～ 2,343)
	節足動物門	150	850	294	4	103	161	260 (4 ～ 850)
	そ の 他	81	214	284		29	130	123 (0 ～ 284)
	合 計	1,643	1,734	2,957	14	259	1,205	1,302 (14 ～ 2,957)
組成体比数 (%)	軟体動物門	50.1	8.4	1.2	14.3	13.5	44.8	20.2 (1.2 ～ 50.1)
	環形動物門	35.8	30.3	79.2	57.1	35.5	31.0	50.3 (30.3 ～ 79.2)
	節足動物門	9.1	49.0	9.9	28.6	39.8	13.4	20.0 (9.1 ～ 49.0)
	そ の 他	4.9	12.3	9.6		11.2	10.8	9.4 (0.0 ～ 12.3)
主要種 個体数 (カッコ内は組成比：%)		イソホリカ ^イ 科	サンカクフシ ^{ツホ}	エゾ ^{カサネカンサ} シ	シリケンウミセミ	エゾ ^{カサネカンサ} シ	タマツホ	エゾ ^{カサネカンサ} シ
		627 (38.2)	775 (44.7)	1,336 (45.2)	4 (28.6)	56 (21.6)	242 (20.1)	310 (23.8)
		ヤッコカンサ ^シ	エゾ ^{カサネカンサ} シ	Dodecaceria sp.	クマト ^{リコ} カイ	サンカクフシ ^{ツホ}	ミス ^{ヒキコ} カイ	サンカクフシ ^{ツホ}
		379 (23.1)	339 (19.6)	853 (28.8)	3 (21.4)	40 (15.4)	180 (14.9)	178 (13.7)
					マサコ ^コ カイ	ノルマンタイス	ホトキ ^{スガ} イ	Dodecaceria sp.
					2 (14.3)	26 (10.0)	168 (13.9)	145 (11.1)
					カスリオフエリア		エゾ ^{カサネカンサ} シ	
					2 (14.3)		127 (10.5)	
							サンカクフシ ^{ツホ}	
							127 (10.5)	

注：1. 上層は平均水面、中層は大潮最低低潮面、下層は大潮最低低潮面-1mを示す。
2. 種類数の平均欄の数値は総種類数を示す。
3. 主要種は各調査点の各層で上位 5 種(ただし組成比 10%以上のもの)を示す。
4. 個体数は 0.09m²あたりの数値で示す。

表 4－3－5－6 (2) 付着生物調査結果概要(坪刈り：動物：湿重量) [令和 6 年度冬季分]

項目 \ 調査点 層		St. A			St. B			平均 (最小 ～ 最大)
		上 層	中 層	下 層	上 層	中 層	下 層	
湿重量 (g)	軟体動物門	29.36	16.12	0.62	0.64	29.64	20.44	16.14 (0.62 ～ 29.64)
	環形動物門	2.56	7.01	34.17	0.06	0.83	4.02	8.11 (0.06 ～ 34.17)
	節足動物門	0.91	58.24	44.65	0.02	3.66	25.03	22.09 (0.02 ～ 58.24)
	そ の 他	1.96	144.78	307.02		0.30	3.06	76.19 (0.00 ～ 307.02)
	合 計	34.79	226.15	386.46	0.72	34.43	52.55	122.52 (0.72 ～ 386.46)
組湿 成重 比量 (%)	軟体動物門	84.4	7.1	0.2	88.9	86.1	38.9	13.2 (0.2 ～ 88.9)
	環形動物門	7.4	3.1	8.8	8.3	2.4	7.6	6.6 (2.4 ～ 8.8)
	節足動物門	2.6	25.8	11.6	2.8	10.6	47.6	18.0 (2.6 ～ 47.6)
	そ の 他	5.6	64.0	79.4		0.9	5.8	62.2 (0.0 ～ 79.4)
主要種 湿重量 (カッコ内は組成比：%)		イワホリカ ^イ 科	ホ ^リ クリニ科	フサコケムシ科	キクノハナカ ^イ	イホ ^ニ シ	サンカクフジ ^ツ ホ ^ホ	ホ ^リ クリニ科
		10.25 (29.5)	101.93 (45.1)	169.26 (43.8)	0.57 (79.2)	8.34 (24.2)	24.91 (47.4)	30.57 (25.0)
		イホ ^ニ シ	サンカクフジ ^ツ ホ ^ホ	ホ ^リ クリニ科		オオヘビ ^カ イ	キクサ ^ル 属	フサコケムシ科
		8.46 (24.3)	56.95 (25.2)	81.10 (21.0)		8.24 (23.9)	13.17 (25.1)	30.04 (24.5)
		マカ ^キ		サンカクフジ ^ツ ホ ^ホ		コシタ ^カ カ ^ン カ ^ラ		サンカクフジ ^ツ ホ ^ホ
		6.26 (18.0)		39.04 (10.1)		6.35 (18.4)		20.64 (16.8)
						マカ ^キ		
						5.27 (15.3)		

注：1. 上層は平均水面、中層は大潮最低低潮面、下層は大潮最低低潮面-1mを示す。
2. 主要種は各調査点の各層で上位 5 種(ただし組成比 10%以上のもの)を示す。
3. 湿重量は 0.09m²あたりの数値で示す。
4. 湿重量が 0.01g/0.09m²未満の場合、湿重量及び湿重量組成比は「+」で示す。

表4-3-5-7(1) 付着生物出現種一覧(坪刈り:動物) [令和6年度冬季分]

調査年月日: 令和7年2月12日

番号	門	綱	目	科	学名	和名
1	海綿動物	普通海綿	—	—	DEMOSPONGIAE	普通海綿綱
2	刺胞動物	花虫	イソギンチャク	—	<i>Haliplanella lineata</i>	タテシマイソギンチャク
3			—	—	ACTINIARIA	イソギンチャク目
4	扁形動物	ウスムシ	ヒラムシ	—	POLYCLADIDA	ヒラムシ目
5	紐形動物	—	—	—	NEMERTINEA	紐形動物門
6	軟体動物	ヒサフラガイ	ヒサフラガイ	—	<i>Acanthochiton rubrolineatus</i>	ヒメケハダヒサフラガイ
7			—	—	<i>Liolophura japonica</i>	ヒサフラガイ
8		マキガイ	オキナエビス	—	<i>Patelloida saccharina</i>	ウナギ
9			—	—	<i>Patelloida pygmaea</i>	ヒメオサフラガイ
10			—	—	<i>Omphalius rusticus</i>	コシダカガシラ
11		ニナ	リソツボ	—	<i>Alvania concinna</i>	タマツボ
12			—	—	<i>Cerithium kobelti</i>	コオロキガイ
13			—	—	<i>Diala varia</i>	スズメハツボ
14			—	—	<i>Serpulorbis imbricatus</i>	オオヘビガイ
15			—	—	<i>Crepidula onyx</i>	シママノウツガイ
16		ハイ	アツキガイ	—	<i>Thais bronni</i>	レイシガイ
17			—	—	<i>Thais clavigera</i>	イホニシ
18			—	—	<i>Mitrella bicincta</i>	ムキガイ
19			—	—	<i>Alexania inazawai</i>	イナギウハガイ
20			—	—	<i>Babellia caelator</i>	クサスリクチキレガイ
21			—	—	Pyramidellidae	トウガタガイ科
22			—	—	<i>Philine argentata</i>	キセリタ
23			—	—	<i>Halioa japonica</i>	フツウガイ
24			—	—	<i>Smaragdina sieboldi</i>	タテシマミドリガイ
25		ウミウシ	—	—	NUDIBRANCHIA	ウミウシ目
26		モノアラガイ	—	—	<i>Siphonaria japonica</i>	モノアラガイ
27			—	—	<i>Siphonaria sirius</i>	キノハナガイ
28		—	—	—	egg of GASTROPODA	マキガイ綱の卵
29		ニマイガイ	アネガイ	—	<i>Barbatia virescens</i>	カリガネガイ
30			—	—	<i>Limnoperna fortunei kikuchii</i>	コウロエンカリヘリガイ
31			—	—	<i>Modiolus nipponicus</i>	ヒバミガイ
32			—	—	<i>Lithophaga curta</i>	イシマダガイ
33			—	—	<i>Musculista senhousia</i>	ホトケスガイ
34			—	—	<i>Musculus cupreus</i>	タマエガイ
35			—	—	<i>Mytilus edulis</i>	ムササギガイ
36			—	—	<i>Anomia chinensis</i>	ナミマダシロガイ
37			—	—	<i>Crassostrea gigas</i>	マダキ
38		ハマクサリ	—	—	<i>Chama</i> sp.	キクサリ属
39			—	—	<i>Irus</i> sp.	マツカセガイ属
40			—	—	Petricolidae	イワホリガイ科
41	環形動物	コカイ	サシハコカイ	—	<i>Harmothoe</i> sp.	
42			—	—	<i>Halosydna brevisetosa</i>	ミロウコロムシ
43			—	—	<i>Lepidonotus</i> sp.	
44			—	—	<i>Eulalia</i> sp.	
45			—	—	<i>Genetyllis</i> sp.	
46			—	—	<i>Ophiodromus</i> sp.	
47			—	—	Syllinae	シリヌ亜科
48			—	—	<i>Nereis heterocirrata</i>	ヒゲフツコカイ
49			—	—	<i>Nereis multignatha</i>	マサココカイ
50			—	—	<i>Nereis neoneanthes</i>	ヤスリコカイ
51			—	—	<i>Perinereis cultrifera</i>	クマドリコカイ
52			—	—	<i>Pseudonereis variegata</i>	デンンカコカイ
53			—	—	Nereidae	コカイ科
54			—	—	<i>Cirriformia tentaculata</i>	ミスヒキコカイ
55			—	—	<i>Dodecaceria</i> sp.	
56			—	—	<i>Polyophthalmus pictus</i>	カスリオフェリア
57			—	—	<i>Streblosoma</i> sp.	
58			—	—	<i>Sabella</i> sp.	
59			—	—	<i>Hydroides ezoensis</i>	エゾカサネカンサシ
60			—	—	<i>Pomatoleios krausii</i>	ヤッコカンサシ
61	節足動物	甲殻	フシツボ	—	<i>Balanus improvisus</i>	ヨーロッパフシツボ
62			—	—	<i>Balanus trigonus</i>	サンカクフシツボ
63			—	—	<i>Anatanaïs normani</i>	ノルマンタナイス
64			—	—	Paranthuridae	ウミナナフシ科
65			—	—	Janiridae	ウミミスミシ科
66			—	—	<i>Dynoides dentisinus</i>	シリケンウミセミ
67			—	—	<i>Paracerceis japonica</i>	ウノウミセミ
68			—	—	<i>Ampithoe</i> sp.	ヒゲナガヨコエビ属
69			—	—	Aoridae	ユシボソコエビ科
70			—	—	<i>Corophium</i> sp.	トロタタムシ属
71			—	—	<i>Grandidierella japonica</i>	ニホントロソコエビ
72			—	—	<i>Stenothoe</i> sp.	タテソコエビ属
73			—	—	<i>Hyale</i> sp.	モクサヨコエビ属
74			—	—	<i>Elasmopus japonicus</i>	イソヨコエビ
75			—	—	<i>Melita</i> sp.	メリタヨコエビ属
76			—	—	Dexaminidae	エシマヨコエビ科
77			—	—	<i>Caprella penantis</i>	マルエウレカラ
78			—	—	<i>Caprella scaura diceros</i>	トゲウレカラ
79			—	—	<i>Alpheus</i> sp.	テッポウエビ属
80			—	—	<i>Pachycheles stevensii</i>	コフカニダマシ

表4－3－5－7(2) 付着生物出現種一覧(坪刈り：動物) [令和6年度冬季分]

調査年月日：令和 7年 2月12日

番号	門	綱	目	科	学名	和名
81	節足動物	甲殻	エビ	オウギカニ	<i>Sphaerozius nitidus</i>	スヘスヘオウギカニ
82				イワカニ	<i>Nanosesarma gordonii</i>	ヒメヘンケイカニ
83				クモカニ	<i>Pugettia quadridens quadridens</i>	ヨウハモカニ
84	触手動物	ホウキムシ	ホウキムシ	ホウキムシ	<i>Phoronis</i> sp.	
85		コケムシ	フタコケムシ	アミコケムシ	Membraniporidae	アミコケムシ科
86				フキコケムシ	Bugulidae	フキコケムシ科
87				トケコケムシ	Scrupocellariidae	トケコケムシ科
88				スシアナコケムシ	Umbonulidae	スシアナコケムシ科
89				ヒラコケムシ	Schizoporellidae	ヒラコケムシ科
90				コブコケムシ	Celleporinidae	コブコケムシ科
91	棘皮動物	ヒトデ	トケヒトデ	アステリナ	<i>Asterina pectinifera</i>	イトマキヒトデ
92			ホシカタヒトデ	ヒトデ	<i>Asterias amurensis</i>	ヒトデ
93			クモヒトデ	—	OPHIUROIDEA	クモヒトデ綱
94		ウニ	—	—	ECHINOIDEA	ウニ綱
95	原索動物	ホヤ	ヒメホヤ	ホリクリニ	Polyclinidae	ホリクリニ科
96				ジテムニ	Didemnidae	ジテムニ科
97				キオナ	<i>Ciona savignyi</i>	ユクレイホヤ
98			マホヤ	スチエラ	<i>Polyandrocarpa zorritensis</i>	クロマイトホヤ
99					<i>Styela plicata</i>	シロホヤ
100					Styelidae	スチエラ科
101				ビウラ	Pyuridae	ビウラ科

表4-3-5-8 (1) 付着生物調査結果(坪刈り：動物：個体数) [令和6年度冬季分]

調査年月日：令和 7年 2月12日									
番号	学名	調査点 層	St.A			St.B			合計
			上層	中層	下層	上層	中層	下層	
1	DEMOSPONGIAE				*				*
2	<i>Haliplanella lineata</i>		8					14	22
3	ACTINIARIA		36	1			3		40
4	POLYCLADIDA		10	60	42			6	118
5	NEMERTINEA		11	23	33			3	70
6	<i>Acanthochiton rubrolineatus</i>		33	40			4	11	88
7	<i>Liolophura japonica</i>		18						18
8	<i>Patelloida saccharina</i>		4						4
9	<i>Patelloida pygmaea</i>		24						24
10	<i>Omphalius rusticus</i>						5	3	8
11	<i>Alvania concinna</i>				1			242	243
12	<i>Cerithium kobelti</i>							6	6
13	<i>Diala varia</i>							38	38
14	<i>Serpulorbis imbricatus</i>						1		1
15	<i>Crepidula onyx</i>			1			3		4
16	<i>Thais bronni</i>			8					8
17	<i>Thais clavigera</i>		39	8			7		54
18	<i>Mitrella bicincta</i>							5	5
19	<i>Alexania inazawai</i>		2						2
20	<i>Babellia caelator</i>							2	2
21	Pyramidellidae							16	16
22	<i>Philine argentata</i>							1	1
23	<i>Haloa japonica</i>						1	15	16
24	<i>Smaragdinella sieboldi</i>		6						6
25	NUDIBRANCHIA				1				1
26	<i>Siphonaria japonica</i>		6			1	3		10
27	<i>Siphonaria sirius</i>		2			1			3
28	egg of GASTROPODA							*	*
29	<i>Barbatia virescens</i>		4	6	1		1		12
30	<i>Limnoperna fortunei kikuchii</i>		2	1				7	10
31	<i>Modiolus nipponicus</i>		1	9			1	4	15
32	<i>Lithophaga curta</i>							2	2
33	<i>Musculista senhousia</i>		2	2			7	168	179
34	<i>Musculus cupreus</i>		1	2	4				7
35	<i>Mytilus edulis</i>			1					1
36	<i>Anomia chinensis</i>						1	2	3
37	<i>Crassostrea gigas</i>		52	2			1		55
38	<i>Chama</i> sp.							2	2
39	<i>Irus</i> sp.							1	1
40	Petricolidae		627	65	29			15	736
41	<i>Harmochoe</i> sp.						2	8	10
42	<i>Halosydna brevisetosa</i>			13	37				50
43	<i>Lepidonotus</i> sp.		33				2		35
44	<i>Eulalia</i> sp.			4	4				8
45	<i>Genetyllis</i> sp.		1						1
46	<i>Ophiodromus</i> sp.			6	36			11	53
47	Syllinae		112	44	27			8	191
48	<i>Nereis heterocirrata</i>		1	8			1		10
49	<i>Nereis multignatha</i>			25	3	2			30
50	<i>Nereis neoneanthes</i>				14				14
51	<i>Perinereis cultrifera</i>		29	67	17	3	8	26	150
52	<i>Pseudonereis variegata</i>		34	4	2	1			41
53	Nereidae			2					2
54	<i>Cirriformia tentaculata</i>				8		15	180	203
55	<i>Dodecaceria</i> sp.			13	853		1		867
56	<i>Polyophthalmus pictus</i>					2		7	9
57	<i>Streblosoma</i> sp.				6		7	6	19
58	<i>Sabella</i> sp.							1	1
59	<i>Hydroides ezoensis</i>			339	1,336		56	127	1,858
60	<i>Pomatoleios krausii</i>		379						379
61	<i>Balanus improvisus</i>						8		8
62	<i>Balanus trigonus</i>		2	775	125		40	127	1,069
63	<i>Anatanaia normani</i>						26	12	38
64	Paranthuridae						1	2	3
65	Janiridae			2	44				46
66	<i>Dynoides dentisinus</i>		37		2	4	5		48
67	<i>Paracerceis japonica</i>							4	4
68	<i>Ampithoe</i> sp.						9		9
69	Aoridae		3	4	8				15
70	<i>Corophium</i> sp.				12		11		23
71	<i>Grandidierella japonica</i>							6	6
72	<i>Stenothoe</i> sp.		1	12	18				31
73	<i>Hyale</i> sp.		3						3
74	<i>Elasmopus japonicus</i>			11	18		1	5	35
75	<i>Melita</i> sp.							4	4
76	Dexaminidae			1					1
77	<i>Caprella penantis</i>				12		1		13
78	<i>Caprella scaura diceros</i>						1	1	2
79	<i>Alpheus</i> sp.				8				8
80	<i>Pachycheles stevensii</i>			1	2				3

注：1. 「*」は群体性の種の出現を示す。

2. 個体数の数値は0.09m²あたりの数値で示す。ただし、調査点合計の欄は0.54m²あたりで示す。

表 4－3－5－8 (2) 付着生物調査結果(坪刈り：動物：個体数) [令和 6 年度冬季分]

番号	学名	調査点 層	St. A			St. B			合計
			上層	中層	下層	上層	中層	下層	
81	<i>Sphaerozius nitidus</i>			41	45				86
82	<i>Nanosesarma gordonii</i>		104						104
83	<i>Pugettia quadridens quadridens</i>			3					3
84	<i>Phoronis</i> sp.				10		20	80	110
85	Membraniporidae			*	*				*
86	Bugulidae		*	*	*			*	*
87	Scrupocellariidae			*	*				*
88	Umbonulidae			*				*	*
89	Schizoporellidae				*			*	*
90	Celleporinidae			*				*	*
91	<i>Asterina pectinifera</i>							1	1
92	<i>Asterias amurensis</i>				1				1
93	OPHIUROIDEA				10		6	21	37
94	ECHINOIDEA							1	1
95	Polyclinidae		*	*	*				*
96	Didemnidae						*		*
97	<i>Ciona savignyi</i>				2				2
98	<i>Polyandrocarpa zorritensis</i>			*	*				*
99	<i>Styela plicata</i>			9	13				22
100	Styelidae		16	121	172			4	313
101	Pyuridae				1				1
種類数			36	44	44	7	34	48	101
合計			1,643	1,734	2,957	14	259	1,205	7,812

注：1. 「*」は群体性の種の出現を示す。

2. 個体数の数値は 0.09m² あたりの数値で示す。ただし、調査点合計の欄は 0.54m² あたりで示す。

表 4-3-5-9 (1) 付着生物調査結果(坪刈り：動物：湿重量) [令和 6 年度冬季分]

調査年月日：令和 7 年 2 月 12 日								
番号	学名	調査点 層	St. A			St. B		
			上層	中層	下層	上層	中層	下層
1	DEMOSPONGIAE				0.49			
2	<i>Haliplanella lineata</i>		0.20					0.03
3	ACTINARIA		0.59	+			0.02	
4	POLYCLADIDA		0.10	0.66	1.07			0.05
5	NEMERTINEA		0.22	1.08	1.15			0.01
6	<i>Acanthochiton rubrolineatus</i>		2.52	0.75			0.34	0.55
7	<i>Liolophura japonica</i>		0.63					
8	<i>Patelloida saccharina</i>		0.34					
9	<i>Patelloida pygmaea</i>		0.12					
10	<i>Omphalius rusticus</i>						6.35	3.26
11	<i>Alvania concinna</i>				+			0.76
12	<i>Cerithium kobelti</i>							0.02
13	<i>Diala varia</i>							0.07
14	<i>Serpulorbis imbricatus</i>						8.24	
15	<i>Crepidula onyx</i>			0.12			0.38	
16	<i>Thais bronni</i>			1.22				
17	<i>Thais clavigera</i>		8.46	10.05			8.34	
18	<i>Mitrella bicincta</i>							0.46
19	<i>Alexania inazawai</i>		+					+
20	<i>Babella caelator</i>							+
21	Pyramidellidae							0.02
22	<i>Philine argentata</i>							0.01
23	<i>Haloa japonica</i>						+	0.38
24	<i>Smaragdinella sieboldi</i>		0.12					
25	NUDIBRANCHIA				0.05			
26	<i>Siphonaria japonica</i>		0.41			0.07	0.09	
27	<i>Siphonaria sirius</i>		0.03			0.57		
28	egg of GASTROPODA							0.03
29	<i>Barbatia virescens</i>		0.17	0.22	0.04		0.02	
30	<i>Limnoperna fortunei kikuchii</i>		0.03	+				0.09
31	<i>Modiolus nipponicus</i>		+	0.47			+	0.09
32	<i>Lithophaga curta</i>							0.01
33	<i>Musculista senhousia</i>		+	0.02			0.10	0.61
34	<i>Musculus cupreus</i>		0.02	0.05	0.38			
35	<i>Mytilus edulis</i>			0.05				
36	<i>Anomia chinensis</i>						0.51	0.80
37	<i>Crassostrea gigas</i>		6.26	0.63			5.27	
38	<i>Chama</i> sp.							13.17
39	<i>Irus</i> sp.						+	+
40	Petricolidae		10.25	2.54	0.15			0.11
41	<i>Harmothoe</i> sp.						0.08	0.15
42	<i>Halosydna brevisetosa</i>			0.71	0.51			
43	<i>Lepidonotus</i> sp.		0.29				0.02	
44	<i>Eulalia</i> sp.			0.09	0.04			
45	<i>Genetyllis</i> sp.		0.16					
46	<i>Ophiodromus</i> sp.			0.01	0.06			0.03
47	Syllinae		0.25	1.32	0.09			0.03
48	<i>Nereis heterocirrata</i>		0.01	0.16			0.01	
49	<i>Nereis multignatha</i>			0.15	0.15	0.03		
50	<i>Nereis neoneanthes</i>				0.14			
51	<i>Perinereis cultrifera</i>		0.08	1.11	0.22	0.02	0.08	0.44
52	<i>Pseudonereis variegata</i>		0.39	0.04	0.02	0.01		
53	Nereidae			0.02				
54	<i>Cirriformia tentaculata</i>				0.33		0.14	1.95
55	<i>Dodecaceria</i> sp.			0.01	2.67		+	
56	<i>Polyophthalmus pictus</i>					+		+
57	<i>Streblosoma</i> sp.				0.24		0.13	0.08
58	<i>Sabella</i> sp.							0.02
59	<i>Hydroides ezoensis</i>			3.39	29.70		0.37	1.32
60	<i>Pomatoleios krausii</i>		1.38					
61	<i>Balanus improvisus</i>						0.46	
62	<i>Balanus trigonus</i>		+	56.95	39.04		2.96	24.91
63	<i>Anatanaïs normani</i>						0.02	+
64	Paranthuridae						0.01	+
65	Janiridae			+	0.07			
66	<i>Dynoides dentisinus</i>		0.11		+	0.02	0.02	
67	<i>Paracerceis japonica</i>							0.06
68	<i>Ampithoe</i> sp.						0.18	
69	Aoridae		+	+	+			+
70	<i>Corophium</i> sp.				+		0.01	
71	<i>Grandidierella japonica</i>							0.01
72	<i>Stenothoe</i> sp.		+	0.01	0.01			
73	<i>Hyale</i> sp.		0.03					
74	<i>Elasmopus japonicus</i>			0.05	0.03		+	0.03
75	<i>Melita</i> sp.							0.02
76	Dexaminidae			+				+
77	<i>Caprella penantis</i>				0.04		+	
78	<i>Caprella scaura diceros</i>						+	+
79	<i>Alpheus</i> sp.				0.39			
80	<i>Pachycheles stevensii</i>			+	0.03			

注：1. 「+」は0.01g 未満を示す。

2. 湿重量の数値は0.09m²あたりの数値で示す。ただし、調査点合計の欄は0.54m²あたりで示す。

表 4－3－5－9 (2) 付着生物調査結果(坪刈り：動物：湿重量) [令和 6 年度冬季分]

		調査年月日：令和 7年 2月12日							
番号	学名	調査点 層	St. A			St. B			合計
			上層	中層	下層	上層	中層	下層	
81	<i>Sphaerozius nitidus</i>			0.76	5.04				5.80
82	<i>Nanosesarma gordonii</i>		0.77						0.77
83	<i>Pugettia quadridens quadridens</i>			0.47					0.47
84	<i>Phoronis</i> sp.				0.03		0.07	0.39	0.49
85	Membraniporidae			0.02	0.15				0.17
86	Bugulidae	+		9.16	169.26			1.84	180.26
87	Scrupocellariidae			0.66	2.99				3.65
88	Umbonulidae			0.26				+	0.26
89	Schizoporellidae				0.34			+	0.34
90	Celleporinidae			1.60				0.03	1.63
91	<i>Asterina pectinifera</i>							0.21	0.21
92	<i>Asterias amurensis</i>				2.96				2.96
93	OPHIUROIDEA				0.09		0.02	0.05	0.16
94	ECHINOIDEA							0.02	0.02
95	Polyclinidae	0.38	101.93	81.10					183.41
96	Didemnidae						0.19		0.19
97	<i>Ciona savignyi</i>				1.03				1.03
98	<i>Polyandrocarpa zorritensis</i>			8.03	1.29				9.32
99	<i>Styela plicata</i>			3.33	11.51				14.84
100	Styelidae	0.47	18.05	33.41				0.43	52.36
101	Pyuridae				0.15				0.15
種類数			36	44	44	7	34	48	101
合計			34.79	226.15	386.46	0.72	34.43	52.55	735.10

注：1. 「+」は 0.01g 未満を示す。

2. 湿重量の数値は 0.09m²あたりの数値で示す。ただし、調査点合計の欄は 0.54m²あたりで示す。

表 4－3－6－1 漁獲対象動植物調査結果概要(刺網) [令和6年度冬季分]

調査年月日：令和7年2月26日～27日

項目 \ 調査点		St. イ
種類数	魚類	2
	甲殻類	0
	頭足類	0
	その他	0
	合計	2
個体数	魚類	4
	甲殻類	0
	頭足類	0
	その他	0
	合計	4
湿重量(g)	魚類	1,401.5
	甲殻類	0.0
	頭足類	0.0
	その他	0.0
	合計	1,401.5

注：個体数、湿重量は1網あたりの数値で示す。

表 4－3－6－2 漁獲対象動植物調査結果(刺網：主要種) [令和6年度冬季分]

調査年月日：令和7年2月26日～27日

項目 \ 調査点		St. イ	
主 要 種	個体数 (カッコ内は 組成比%)	魚類	マコガレイ 2 (50.0) イヌノシタ 2 (50.0)
		甲殻類	
		頭足類	
		その他	
	湿重量 (g) (カッコ内は 組成比%)	魚類	イヌノシタ 925.6 (66.0) マコガレイ 475.9 (34.0)
		甲殻類	
		頭足類	
		その他	

注：1. 個体数、湿重量は1網あたりの数値で示す。

2. 主要種は各調査点の各分類群で上位5種（ただし組成比5%以上のもの）を示す。

表 4－3－6－3 漁獲対象動植物調査結果(刺網) [令和 6 年度冬季分]

調査年月日：令和7年2月26日～27日							
番号	門	綱	目	科	学 名	和 名	個体数 湿重量 (g)
1	脊椎動物門	硬骨魚綱	カレイ目	カレイ科	<i>Pleuronectes yokohamae</i>	マコガレイ	2 475.9
2				ウシノシタ科	<i>Cynoglossus robustus</i>	イヌノシタ	2 925.6

注：個体数、湿重量は1網あたりの数値で示す。

表 4－3－6－4 漁獲対象動植物測定結果概要(刺網) [令和 6 年度冬季分]

調査年月日：令和7年2月26日～27日

番号	和 名	総個体数	湿重量 (g)			全長 (mm)		
			最大	最小	中央値	最大	最小	中央値
1	マコガレイ	2	304.4	171.5	238.0	279	233	256
2	イヌノシタ	2	667.6	258.0	462.8	420	349	385

注：表中の全長の計測部位を以下に示す。

魚類・エビ・シャコ：全長、カニ：甲長、巻貝：殻高、二枚貝：殻長、ウニ：殻径、ヒトデ：幅長、
 プンプク：長径

表 4－3－6－5 漁獲対象動植物測定結果(刺網) [令和6年度冬季分]

調査年月日：令和7年2月26日～27日

通しNo.	和 名	No.	体重(g)	全長(mm)	体長(mm)	その他(mm)	備考
1	マコガレイ	1	304.4	279	216		
2		2	171.5	233	178		
3	イヌノシタ	1	667.6	420	-		尾鰭欠損
4		2	258.0	349	321		

注：表中の全長、体長、その他の計測部位を以下に示す。

全長は、魚類・エビ・シヤコ：全長、カニ：甲長、巻貝：殻高、二枚貝：殻長、ウニ：殻径、ヒトデ：幅長、
 プンプク：長径

体長は、魚類・エビ・シヤコ：体長、エイ：胎盤長、ウナギ・アナゴ：肛門長、カニ：甲幅、巻貝：殻径、
 二枚貝：殻高、タコ：腹套長、イカ：背套長、ヒトデ：間幅長、プンプク：短径

その他は、ガザミ：全殻幅、エビ・シヤコ：頭甲胸長

表 4－3－6－6 漁獲対象動植物調査結果概要(底引網) [令和 6 年度冬季分]

調査年月日：令和 7 年 2 月 27 日

項目 \ 調査点		St. イ
種類数	魚類	6
	甲殻類	11
	頭足類	1
	その他	1
	合計	19
個体数	魚類	11
	甲殻類	116
	頭足類	1
	その他	2
	合計	130
湿重量 (g)	魚類	1,747.6
	甲殻類	846.7
	頭足類	10.6
	その他	114.0
	合計	2,718.9

注：個体数、湿重量は 1 網あたりの数値で示す。

表 4－3－6－7 漁獲対象動植物調査結果（底引網：主要種）〔令和 6 年度冬季分〕

調査年月日：令和 7 年 2 月 27 日

項目 \ 調査点		St. イ	
主 要 種	(カッコ内は 組成比%)	魚類	イヌノシタ 3 (27.3)
			アカエイ 2 (18.2)
			ハタタテヌメリ 2 (18.2)
			アカシタビラメ 2 (18.2)
			サヨリ 1 (9.1)
			クロダイ 1 (9.1)
		甲殻類	テナガコブシ 53 (45.7)
			フタホシイシガニ 14 (12.1)
			シャコ 12 (10.3)
			ヒメガザミ 10 (8.6)
			サメハダヘイケガニ 9 (7.8)
		頭足類	マダコ 1 (100.0)
		その他	アカガイ 2 (100.0)
	(カッコ内は 組成比%)	魚類	クロダイ 1,049.5 (60.1)
			アカエイ 316.8 (18.1)
			イヌノシタ 278.4 (15.9)
		甲殻類	タイワンガザミ 265.0 (31.3)
			ガザミ 204.8 (24.2)
			テナガコブシ 198.6 (23.5)
			シャコ 49.7 (5.9)
			キメンガニ 44.5 (5.3)
		頭足類	マダコ 10.6 (100.0)
		その他	アカガイ 114.0 (100.0)

注：1. 個体数、湿重量は 1 網あたりの数値で示す。

2. 主要種は各調査点の各分類群で上位 5 種（ただし組成比 5 %以上のもの）を示す。

表4-3-6-8 漁獲対象動植物調査結果(底引網) [令和6年度冬季分]

調査年月日：令和7年2月27日

番号	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	湿重量 (g)
1	軟体動物門	二枚貝綱	真多歯目	フネガイ科	<i>Scapharca broughtonii</i>	アカガイ	2	114.0
2		頭足綱	八腕形目	マダコ科	<i>Octopus vulgaris</i>	マダコ	1	10.6
3	節足動物門	甲殻綱	十脚目	クルマエビ科	<i>Metapenaeopsis barbata</i>	アカエビ	4	9.1
4					<i>Metapenaeus ensis</i>	ヨシエビ	1	3.1
5					<i>Trachypenaeus curvirostris</i>	サルエビ	7	17.1
6				ヘイケガニ科	<i>Dorippe frasccone</i>	キメンガニ	3	44.5
7					<i>Paradorippe granulata</i>	サメハダヘイケガニ	9	18.6
8				コブシガニ科	<i>Myra fugax</i>	テナガコブシ	53	198.6
9				ワタリガニ科	<i>Charybdis bimaculata</i>	フタホシイシガニ	14	21.4
10					<i>Portunus hastatoides</i>	ヒメガザミ	10	14.8
11					<i>Portunus pelagicus</i>	タイワンガザミ	1	265.0
12					<i>Portunus trituberculatus</i>	ガザミ	2	204.8
13			口脚目	シヤコ科	<i>Oratosquilla oratoria</i>	シヤコ	12	49.7
14	脊椎動物門	軟骨魚綱	エイ目	アカエイ科	<i>Dasyatis akajei</i>	アカエイ	2	316.8
15		硬骨魚綱	ダツ目	サヨリ科	<i>Hyporhamphus sajori</i>	サヨリ	1	37.4
16			スズキ目	タイ科	<i>Acanthopagrus schlegelii</i>	クロダイ	1	1,049.5
17			ウバウオ目	ネズッコ科	<i>Repomucenus valenciennei</i>	ハタタテヌメリ	2	4.3
18			カレイ目	ウシノシタ科	<i>Cynoglossus joyneri</i>	アカシタビラメ	2	61.2
19					<i>Cynoglossus robustus</i>	イヌノシタ	3	278.4

注：個体数、湿重量は1網あたりの数値で示す。

表4-3-6-9 漁獲対象動植物測定結果概要(底引網) [令和6年度冬季分]

調査年月日：令和7年2月27日

番号	和名	総個体数	湿重量 (g)			全長 (mm)		
			最大	最小	中央値	最大	最小	中央値
1	アカガイ	2	60.2	53.8	57.0	56	52	54
2	マダコ	1	10.6	10.6	10.6	110	110	110
3	アカエビ	4	3.4	1.4	2.2	74	49	64
4	ヨシエビ	1	3.1	3.1	3.1	83	83	83
5	サルエビ	7	3.8	1.2	2.5	80	63	67
6	キメンガニ	3	19.1	9.4	16.0	44	29	40
7	サメハダヘイケガニ	9	3.1	1.0	1.8	19	14	16
8	テナガコブシ	53	6.6	1.7	4.1	31	17	26
9	フタホシイシガニ	14	2.0	1.2	1.6	15	8	11
10	ヒメガザミ	10	1.7	1.2	1.5	12	9	11
11	タイワンガザミ	1	265.0	265.0	265.0	66	66	66
12	ガザミ	2	183.1	21.7	102.4	64	33	49
13	シヤコ	12	5.5	2.7	4.1	86	57	76
14	アカエイ	2	203.6	113.2	158.4	344	325	335
15	サヨリ	1	37.4	37.4	37.4	268	268	268
16	クロダイ	1	1,049.5	1,049.5	1,049.5	392	392	392
17	ハタタテヌメリ	2	2.4	1.9	2.2	85	76	81
18	アカシタビラメ	2	33.4	27.8	30.6	190	179	185
19	イヌノシタ	3	117.0	46.1	115.3	289	202	261

注：表中の全長の計測部位を以下に示す。

魚類・エビ・シヤコ：全長、カニ：甲長、巻貝：殻高、二枚貝：殻長、ウニ：殻径、ヒトデ：幅長
 プンプク：長径

表 4-3-6-10(1) 漁獲対象動植物測定結果(底引網) [令和6年度冬季分]

調査年月日：令和7年2月27日

通しNo.	和 名	No.	体重(g)	全長(mm)	体長(mm)	備考
1	アカガイ	1	53.8	52	44	
2		2	60.2	56	45	
3	マダコ	1	10.6	110	27	
4	アカエビ	1	2.3	67	59	
5		2	3.4	74	68	
6		3	2.0	60	55	
7		4	1.4	49	43	
8	ヨシエビ	1	3.1	83	71	
9	サルエビ	1	3.8	80	73	
10		2	2.9	74	55	
11		3	3.3	79	62	
12		4	2.5	67	57	
13		5	1.8	63	55	
14		6	1.6	67	53	
15		7	1.2	63	51	
16	キメンガニ	1	9.4	29	21	
17		2	16.0	40	28	
18		3	19.1	44	31	
19	サメハダヘイケガニ	1	1.8	16	15	
20		2	1.8	16	14	
21		3	2.7	19	17	
22		4	3.0	19	16	
23		5	2.7	19	17	
24		6	3.1	18	16	
25		7	1.4	14	11	
26		8	1.0	14	10	
27		9	1.1	14	11	
28	テナガコブシ	1	5.3	29	16	
29		2	5.6	29	21	
30		3	6.5	28	21	
31		4	6.6	26	19	
32		5	4.7	28	20	
33		6	5.3	27	15	
34		7	3.0	22	13	
35		8	5.2	29	19	
36		9	3.2	24	18	
37		10	5.6	31	21	
38		11	3.1	25	23	
39		12	2.7	25	18	
40		13	4.5	28	20	
41		14	5.2	27	21	
42		15	2.4	22	17	
43		16	3.8	25	19	
44		17	4.2	27	19	
45		18	4.3	28	19	
46		19	4.7	30	21	
47		20	4.2	27	20	
48		21	5.1	30	21	
49		22	3.9	26	19	
50		23	4.2	26	19	

注：表中の全長、体長、その他の計測部位を以下に示す。

全長は、魚類・エビ・シャコ：全長、カニ：甲長、巻貝：殻高、二枚貝：殻長、ウニ：殻径、ヒトデ：幅長、ブナブナ：長径

体長は、魚類・エビ・シャコ：体長、エイ：胎盤長、ウナギ・アナゴ：肛門長、カニ：甲幅、巻貝：殻径、二枚貝：殻高、タコ：腹套長、イカ：背套長、ヒトデ：間幅長、ブナブナ：短径

その他は、ガザミ：全殻幅、エビ・シャコ：頭甲胸長

表 4 - 3 - 6 - 10(2) 漁獲対象動植物測定結果(底引網) [令和 6 年度冬季分]

調査年月日：令和7年2月27日

通しNo.	和 名	No.	体重(g)	全長(mm)	体長(mm)	備考
51	テナガコブシ	24	3.0	25	17	
52		25	4.1	26	19	
53		26	4.1	27	20	
54		27	4.0	27	19	
55		28	5.0	28	21	
56		29	5.6	29	20	
57		30	3.6	25	17	
58		31	3.7	25	18	
59		32	3.8	26	19	
60		33	3.5	23	17	
61		34	5.2	29	21	
62		35	4.5	26	19	
63		36	4.1	24	18	
64		37	4.5	29	21	
65		38	4.3	27	19	
66		39	3.1	25	18	
67		40	4.2	26	20	
68		41	2.9	23	17	
69		42	2.9	23	17	
70		43	2.5	24	18	
71		44	2.8	24	17	
72		45	2.4	21	15	
73		46	3.3	24	17	
74		47	2.5	28	17	
75		48	2.1	21	14	
76		49	1.9	18	13	
77		50	1.7	17	12	
78			4.8			個体数3
79	フタホシイシガニ	1	1.5	11	12	
80		2	1.7	12	17	
81		3	1.6	12	16	
82		4	2.0	12	14	
83		5	1.6	11	16	
84		6	1.7	12	16	
85		7	1.6	15	16	抱卵
86		8	1.6	11	15	
87		9	1.4	9	12	
88		10	1.4	10	13	
89		11	1.5	10	12	
90		12	1.3	9	13	
91		13	1.2	8	10	
92		14	1.3	9	11	
93	ヒメガザミ	1	1.7	11	13	
94		2	1.4	11	15	
95		3	1.5	12	13	
96		4	1.4	9	14	
97		5	1.2	12	15	
98		6	1.4	10	18	
99		7	1.5	11	12	
100		8	1.6	11	14	

注：表中の全長、体長、その他の計測部位を以下に示す。

全長は、魚類・エビ・シャコ：全長、カニ：甲長、巻貝：殻高、二枚貝：殻長、ウニ：殻径、ヒトデ：幅長、ブナブナ：長径

体長は、魚類・エビ・シャコ：体長、エイ：胎盤長、ウナギ・アナゴ：肛門長、カニ：甲幅、巻貝：殻径、二枚貝：殻高、タコ：腹套長、イカ：背套長、ヒトデ：間幅長、ブナブナ：短径

その他は、ガザミ：全殻幅、エビ・シャコ：頭甲胸長

表 4－3－6－10(3) 漁獲対象動植物測定結果(底引網) [令和 6 年度冬季分]

調査年月日：令和7年2月27日

通しNo.	和 名	No.	体重(g)	全長(mm)	体長(mm)	備考
101	ヒメガザミ	9	1.7	11	15	
102		10	1.4	11	14	
103	タイワンガザミ	1	265.0	66	100	
104	ガザミ	1	183.1	64	90	
105		2	21.7	33	49	
106	シャコ	1	4.8	82	60	
107		2	2.9	79	56	
108		3	4.7	82	64	
109		4	4.0	69	53	
110		5	4.2	74	57	
111		6	5.1	81	63	
112		7	5.5	86	65	
113		8	4.8	77	60	
114		9	3.7	66	55	
115		10	3.7	68	54	
116		11	3.6	63	48	
117		12	2.7	57	42	
118	アカエイ	1	203.6	344	163	
119		2	113.2	325	147	
120	サヨリ	1	37.4	268	234	
121	クロダイ	1	1,049.5	392	326	
122	ハタタテヌメリ	1	2.4	85	67	
123		2	1.9	76	55	
124	アカシタビラメ	1	27.8	179	165	
125		2	33.4	190	177	
126	イヌノシタ	1	117.0	289	264	
127		2	115.3	261	245	
128		3	46.1	202	188	

注：表中の全長、体長、その他の計測部位を以下に示す。

全長は、魚類・エビ・シャコ：全長、カニ：甲長、巻貝：殻高、二枚貝：殻長、ウニ：殻径、ヒトデ：幅長、プルプク：長径

体長は、魚類・エビ・シャコ：体長、エイ：胎盤長、ウナギ・アナゴ：肛門長、カニ：甲幅、巻貝：殻径、二枚貝：殻高、タコ：腹套長、イカ：背套長、ヒトデ：間幅長、プルプク：短径

その他は、ガザミ：全殻幅、エビ・シャコ：頭甲胸長

4-4 ダイオキシン類調査結果

4-4-1 水質調査結果

分析結果概要を表4-4-1-1、同族体および異性体別測定結果を表4-4-1-2に示す。

本調査の結果は、0.052pg-TEQ/Lであり、環境基準を下回っていた。

表4-4-1-1 分析結果概要（水質）

試料名	試験項目	実測濃度 (pg/L)	毒性当量
			(pg-TEQ/L)
St.S-1	PCDDs+PCDFs	2.4	0.049
	Co-PCBs	15	0.0031
	ダイオキシン類	—	0.052

この表は、ダイオキシン類測定結果から一部のデータを抜粋した参考資料である。

毒性当量：2,3,7,8-TCDD 毒性当量を示す。

毒性等価係数は以下の係数を適用した。

PCDDs, PCDFs : WHO/IPCS (2006)

Co-PCBs : WHO/IPCS (2006)

毒性当量は検出下限未満のものは、試料における検出下限の1/2の値を用いて算出したものである。

表4-4-1-2 ダイオキシン類調査結果（水質：St. S-1）

試料名		St.S-1		試料媒体	水質	
採取日		2025年2月20日		試料量 (L)	19.8	
		検出下限値	定量下限値	実測濃度	毒性当量	
					WHO-TEF,2006 *1	WHO-TEF,2006 *2
		pg/L	pg/L	pg/L	pg-TEQ/L	pg-TEQ/L
ダイオキシン	1,3,6,8-TeCDD	0.03	0.09	(0.07)	—	—
	1,3,7,9-TeCDD	0.03	0.09	N.D.	—	—
	2,3,7,8-TeCDD	0.03	0.09	N.D.	×1 0	×1 0.015
	TeCDDs	0.03	0.09	0.12	—	—
	1,2,3,7,8-PeCDD	0.02	0.07	N.D.	×1 0	×1 0.01
	PeCDDs	0.02	0.07	N.D.	—	—
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	0.04	0.15	N.D.	×0.1 0	×0.1 0.002
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	0.05	0.16	N.D.	0	0.0025
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	0.05	0.15	N.D.	0	0.0025
	HxCDDs	0.04	0.15	0.26	—	—
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.06	0.18	(0.14)	×0.01 0	×0.01 0.0014
	HpCDDs	0.06	0.18	0.40	—	—
	OCDD	0.05	0.17	1.4	×0.0003 0.00042	×0.0003 0.00042
	Total PCDDs	—	—	2.1	0.00042	0.034
ジベンゾ	1,2,7,8-TeCDF	0.03	0.09	N.D.	—	—
	2,3,7,8-TeCDF	0.03	0.09	N.D.	×0.1 0	×0.1 0.0015
	TeCDFs	0.03	0.09	(0.08)	—	—
	1,2,3,7,8-PeCDF	0.03	0.09	N.D.	×0.03 0	×0.03 0.00045
	2,3,4,7,8-PeCDF	0.03	0.09	N.D.	×0.3 0	×0.3 0.0045
	PeCDFs	0.03	0.09	N.D.	—	—
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.03	0.10	N.D.	×0.1 0	×0.1 0.0015
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.03	0.11	N.D.	0	0.0015
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	0.06	0.18	N.D.	0	0.003
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	0.04	0.12	N.D.	0	0.002
	HxCDFs	0.03	0.10	(0.10)	—	—
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.03	0.12	(0.04)	×0.01 0	×0.01 0.0004
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	0.05	0.16	N.D.	0	0.00025
	HpCDFs	0.03	0.12	(0.04)	—	—
	OCDF	0.05	0.18	N.D.	×0.0003 0	×0.0003 0.0000075
	Total PCDFs	—	—	(0.22)	0	0.015
Total PCDDs+PCDFs		—	—	2.4	0.00042	0.049
COPs	3,3',4,4'-TeCB(#77)	0.03	0.10	2.8	×0.0001 0.00028	×0.0001 0.00028
	3,4,4',5'-TeCB(#81)	0.03	0.11	0.14	×0.0003 0.000042	×0.0003 0.000042
	3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	0.04	0.14	N.D.	×0.1 0	×0.1 0.002
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	0.03	0.09	N.D.	×0.03 0	×0.03 0.00045
	Non-ortho PCBs	—	—	2.9	0.00032	0.0028
	2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	0.04	0.12	0.20	×0.00003 0.0000060	×0.00003 0.0000060
	2,3',4,4',5'-PeCB(#118)	0.06	0.19	7.8	×0.00003 0.000234	×0.00003 0.000234
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	0.04	0.14	3.6	×0.00003 0.000108	×0.00003 0.000108
	2,3,4,4',5+3,3',4,5,5'-PeCB(#114+#127)	0.04	0.12	0.26	×0.00003 0.0000078	×0.00003 0.0000078
	2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)	0.05	0.18	(0.18)	×0.00003 0	×0.00003 0.0000054
	2,3,3',4,4',5-HxCB(#156)	0.05	0.16	0.34	×0.00003 0.0000102	×0.00003 0.0000102
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	0.04	0.15	(0.09)	×0.00003 0	×0.00003 0.0000027
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	0.05	0.16	N.D.	×0.00003 0	×0.00003 0.00000075
	Mono-ortho PCBs	—	—	12	0.00037	0.00037
	Total Co-PCBs	—	—	15	0.00069	0.0031
Total PCDDs+PCDFs+Co-PCBs		—	—	18	0.0011	0.052

1. 毒性当量とは毒性等価係数を用いて、2,3,7,8-TeCDDの毒性に換算したものであり、計量対象外である。

2. 実測濃度の項において、検出下限以上定量下限未満の濃度は括弧付きの数字で記載する。

3. 実測濃度の項において、検出下限未満のものは“N.D.”と記載する。

4. 毒性当量 * 1 : 定量下限未満の実測濃度を0として算出する。

* 2 : 検出下限未満の数値は検出下限値の1/2の値を用いて算出する。

5. 表示は原則として2桁とするが、合計の算出には丸めを行っていない数値を用いているため、表示上の数値を合計しても一致しない場合がある。